

山野学区まちづくり計画

～山野に住んでよかったといえるまちづくり～



山野まちづくり推進委員会

山野まちづくり事業

写真による紹介



春待ちコンサート



山野峡 草花の観察会



山野ほたる祭り



子どもの遊び道具づくり講習会



水車と語りん祭



注連縄づくり講習会



山野史跡めぐり



山野町自主防災訓練

目 次

1. はじめに	P. 1
2. 学区の現状	P. 2～3
3. 学区の課題	P. 4
4. アンケート調査を元にしたまちづくり	P. 4
5. 山野まちづくりの目標（基本推進事業）	P. 5
6. 具体的な取り組み	
I. 情報発信	P. 6
II. 資源活用	P. 7～8
III. 高齢者福祉	P. 9～11
IV. 安心安全	P. 12～15
V. 交流体験	P. 16～17
7. 山野学区まちづくり計画の組織	P. 18
8. まちづくり行動計画表（基本推進事業の内容と役割分担）	P. 19～21
9. おわりに	P. 22
10. 資料 - 1 2009年アンケートの集計とグラフ	P. 23～40
11. 資料 - 2 2009年アンケートの自由記載	P. 41～52
設問：あなたは「住みやすいまちづくり」についてどんなことをしたらよいと思いますか。	
12. 資料 - 3 山野史跡散策	P. 53～57

1. はじめに

福山市は、2016年（平成28年）の市制施行100周年に向けて、市民一人ひとりが『まちづくりの主演』として、協力し合い、いきいきと活躍できるまちをめざしお互いが役割を担い、協力し合いながら、まちづくりに関するさまざまな取り組みを実施していくための「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を策定しました。これに基づき各学区は、数年間にわたる「地域まちづくり計画」を策定することになりました。

山野まちづくり推進委員会は、2009年（平成21年）に全戸を対象としたアンケートを実施し、多くの方々からの意見を集約して山野の課題について検討を重ねてきました。

過疎と少子高齢化の波が押し寄せている厳しい山野は、取り組まなくてはならない課題が山積しています。

このような状況において、新しく立ち上げたやまの里山クラブは様々な活動をすでに展開しています。山野町内会連合会やまちづくり推進委員会等多くの組織も精力的な活動を継続しています。

集約したアンケートを基本にし、山野に住んでよかったと言えるまちづくりをめざして、ここに「**山野学区まちづくり計画**」を策定しました。

この計画推進について、みな様方のご理解とご参加ご支援をお願いする次第です。

2015年（平成27年）4月
山野まちづくり推進委員会

2. 学区の現状

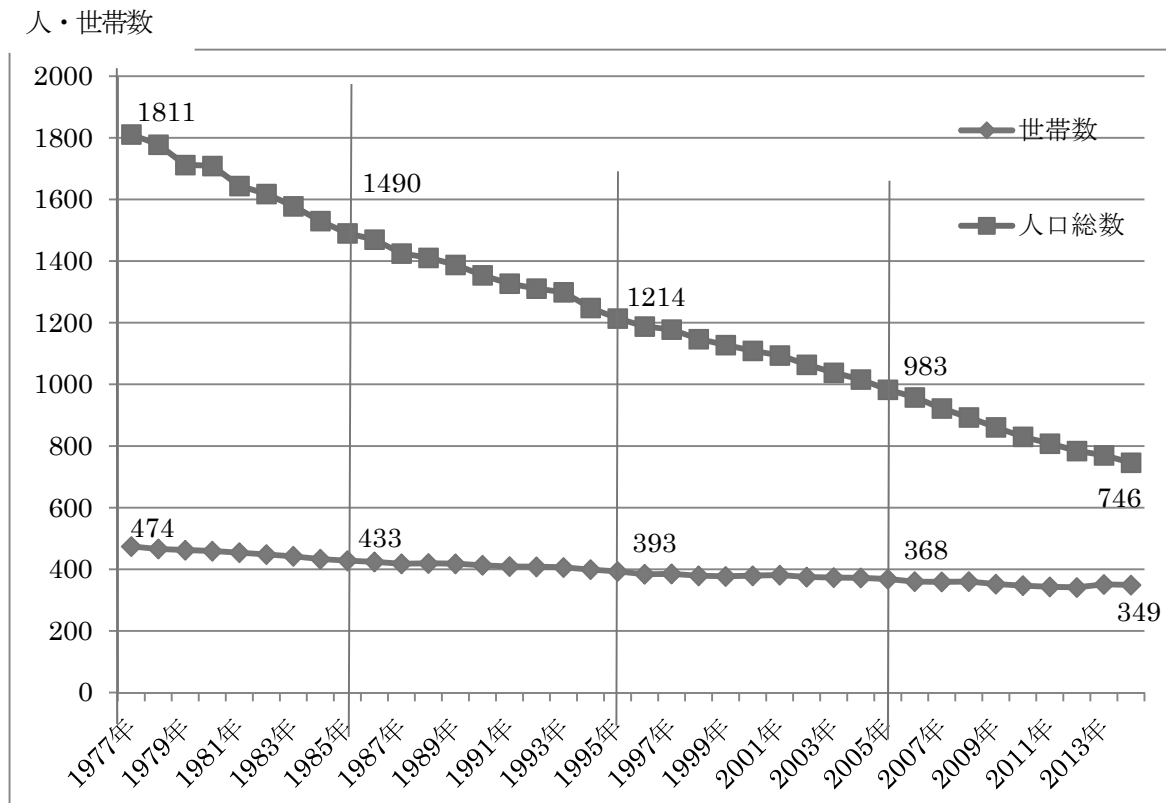
山野町は福山市北部に位置し、豊かな自然にめぐまれた農山村地域です。北は神石高原町、東は岡山県井原市に接しています。

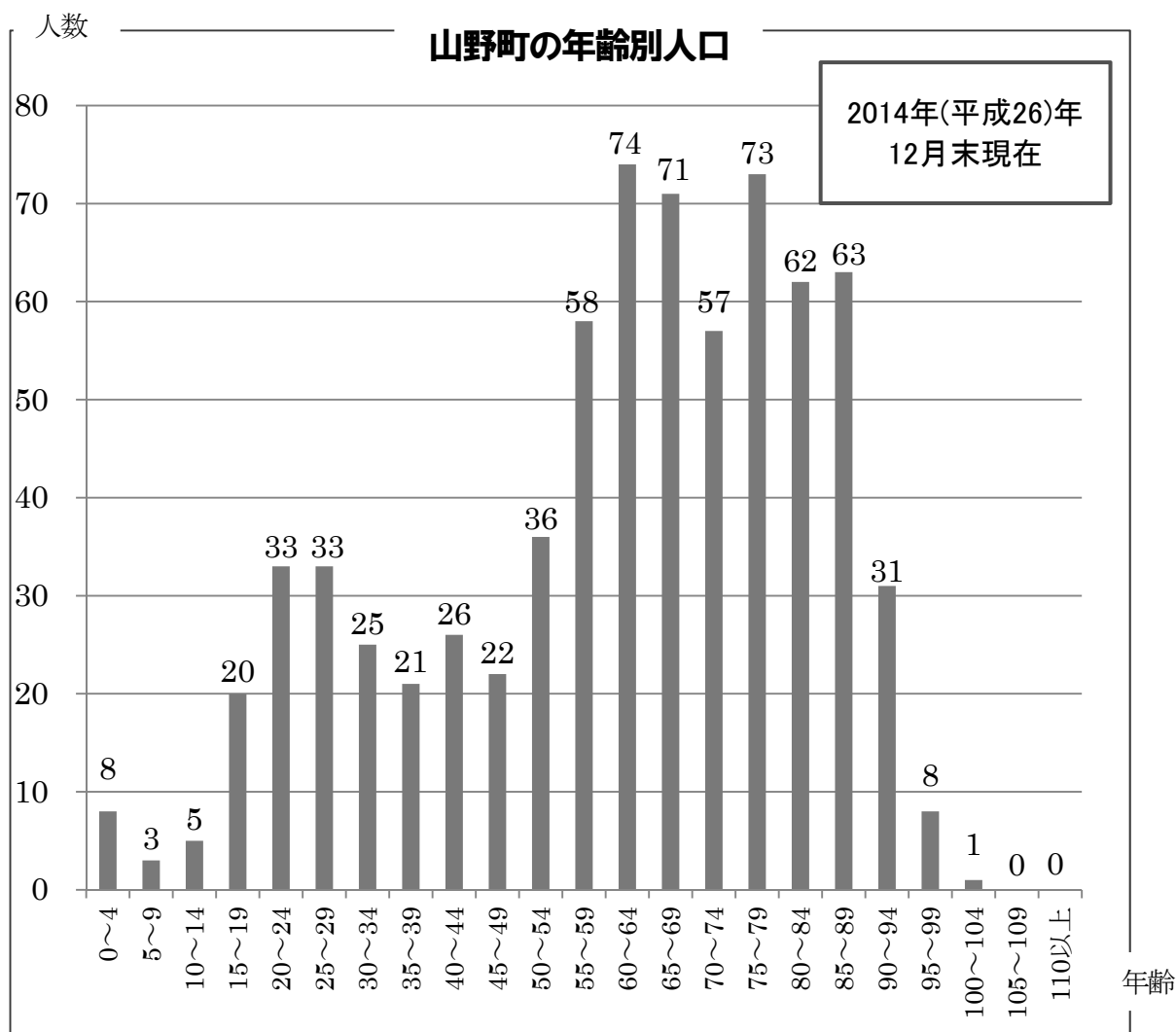
四季折々の風景や多くの昆虫・野鳥・山野草・鉱石などを楽しむことができます。山野峡は、県立自然公園に指定されて、年間を通し多くの人々が山野を訪れています。

先人は、平地が少なく地域の大部分を占める山々の斜面に畑や棚田をつくり、たくましく生活してきました。

昭和20年代には600世帯、人口3,000人を超える活気あふれる村でした。しかし、1960年（昭和35年）ころから社会構造が変わり、都市部への人口流出が多くなってきました。

山野町の人口と世帯数の推移





2014年(平成26年)12月末の山野町の現状は、

世帯数 349世帯

人口 730人

高齢化率(65才以上が占める人口の割合) 50.1%

山野小・中学校の児童生徒数 12人

猪や猿等有害鳥獣の出没が増え、農作物の被害が増えています。耕作放棄地の増加とも関係があるものと思われます。

2002年(平成14年)には、山野北小学校が休校となり、続いて2007年(平成19年)には、山野保育所も休所となりました。

過疎と少子高齢化がどんどん進んでいる状況にあります。

3. 学区の課題は

- ・週2回の診療所開設はありますが、常駐の医者がなく健康に対する不安。
- ・有害鳥獣が増え、収穫前の作物が荒らされる被害が続出。
- ・高齢者の一人暮らしや高齢者だけの家庭が多く、今後自立できるか不安。
- ・人口減少が進むことへの不安と学校や各種団体の存続危惧。
- ・道路の狭い場所が多く、車の離合や通勤等が不便で、危険を伴う。

4. アンケート調査を元にしたまちづくり

2009年(平成21年)の全戸を対象とした山野町民アンケートから「山野を何とかしたい。学校の灯を消してはいけない。何としても学校を存続させたい。」という多くの願いがありました。その主要は、

- ・山野をもっともっと外に向けて発信する。
- ・山野に眠っている施設や遊休地を活用して、山野の活性化をはかる。
- ・高齢化率47%（当時）に対する福祉を考え、元気な高齢者を目指す。
- ・狭い道路を拡張して、安心して離合できる交通網をはかる。
- ・山野へ町外の人に来てくれる催しを企画し、交流や体験を通して山野のよさを知ってもらい山野への定住を促進していく。という内容でした。

2015年2月末現在の
高齢化率 49.6%

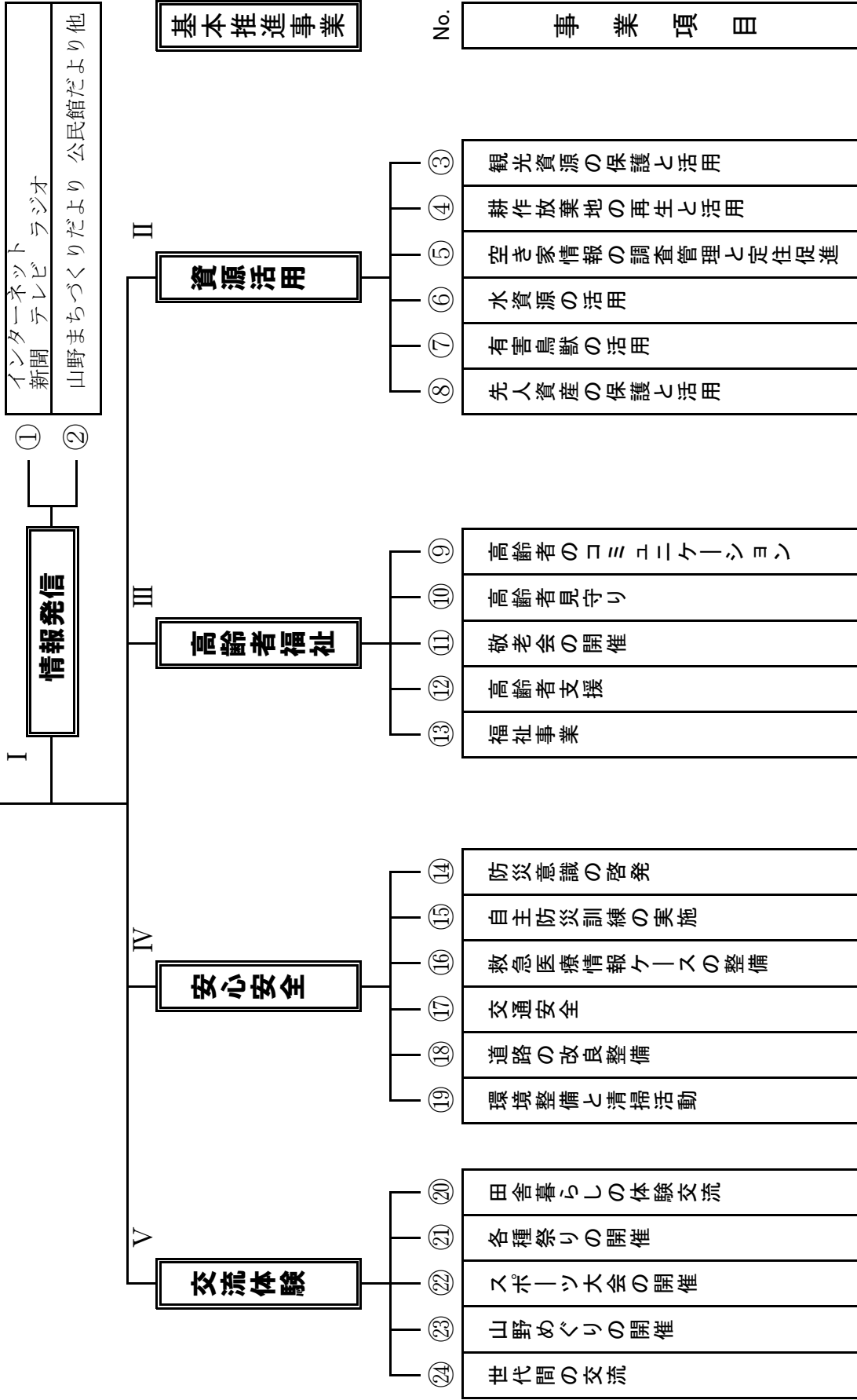
これらの問題は、当然山野町全体で取り組んで行くべきもので、まちづくり推進委員会という行政とつながった組織では限界があると感じ、まちづくりとは切り離して活動する「やまの里山クラブ」を立ち上げました。

里山クラブでは更に集約して、情報発信・資源活用・高齢者福祉・交流体験の四専門部会を設け、推進の基本としました。

今ここに「山野学区まちづくり計画」を策定していくにあたり、安心安全の項目を加えて計画の基本とし、各種団体が、一丸となって推進していくことにしました。

山野まちづくりの目標

山野に住んでよかったといえるまちづくり



6. 具体的な取り組み

I. 情報発信

① メディアを活用して情報の発信を行う。

- ・山野まちづくり推進委員会を中心にやまの里山クラブや山野公民館と連携をとりながら、山野町の行事や活動内容と有形無形の文化財・史跡・自然等を町内外の多くの人に知ってもらうためインターネットや新聞・地方紙・テレビ・ラジオ・

広報ふくやま等のメディアを活用して情報発信を行います。



キラリやまのを紹介する新聞記事



近隣の各学区へ配布した
山野を紹介するチラシ

- ・山野町内の空家情報を町外へ発信して、希望者への対応をはかると共に山野への定住を促進します。

② 各種団体の たよりを発行する。

- ・山野町内へ向けては、「山野まちづくりだより」・「公民館だより」・「山野福祉だより」・「やまの里山クラブだより」・「交通安全自治会報」などを各種団体から発行して、町内の活動状況等を皆さんにお知らせしていきます。

II. 資源活用

③ 観光資源(県立自然公園)の保護と活用をはかる。

- ・ 観光資源を利用した行事等を企画開催して、地域住民が積極的に参加します。



上原谷の石灰岩巨大礫と岩屋権現



山野峡山開き

- ・ 宣伝・広報・パンフレット等を作成して、観光客を誘致します。
- ・ 安全対策・施設整備・案内説明看板等の設置を依頼し、県立自然公園内の清掃作業を行います。

④ 耕作放棄地の再生と活用をはかる。

- ・ 耕作放棄地を再生して、小麦・そば・薩摩芋・かぼちゃ等を栽培します。
- 収穫と加工を行い小麦粉・そば粉・たくあん等の販売をして、資金を活動に活かしていく循環型の再生を形成します。



小麦の収穫作業



大根の収穫作業

- ・ 耕作放棄地の再生を目指し、荒廃地にはクローバー等の栽培をしていきます。

⑤ **空き家の調査管理と定住促進をする。**

- ・ 空き家はあるけれど、住人の愛着が大変強く貸してもらえない実態があるので、しっかり調査管理を行い町外の空き家希望者の問い合わせに対応し、山野町への定住を促進していきます。

⑥ **水資源の活用をする。**

- ・ 山野川に鮎・鯉・ウナギ・やまめなどの魚を放流すると共に、養魚場の設置へ向けての調査研究と企画検討を行います。
- ・ 小規模水力発電・水車等の水資源利用の施設設置へ向け調査研究を行い実現をはかります。
- ・ 名水の発掘調査を行い販売へつなげます。

⑦ **鳥獣の活用をする。**

- ・ 負の資源と言われる猪や猿等の有害鳥獣を捕獲し、農作物への被害削減に向け対策を行います。山野町有害鳥獣対策協議会と連携をはかり、罠の免許資格者を増やし、かつ維持管理を行って猪や猿が近づきにくい地域にしていきます。捕獲した猪は、処理施設を整備し販売ルートとジビエのレストラン等を開拓して資金の循環をはかります。

⑧ **先人遺産の保護と活用をする。**

- ・ 山野民俗資料館に収集してある山野の民俗歴史資料を整理し、展示をすると共に丁寧な保存管理を行って後世へ伝えていきます。



山野民俗資料館



資料館内部の展示

- ・ 民俗資料のふれあい実演を企画し開催します。

Ⅲ. **高齢者福祉**

⑨ **高齢者のコミュニケーションとつながりをはかる。**

- ・「高齢者と語る会」・「そばを食べて楽しむ会」等を開催し、合わせて演芸観賞も行いコミュニケーションと交流をはかります。



そばを食べて楽しむ会

- ・「ひまわりサロン」を開催します。長く元気で暮らしてもらうことを願って企画運営をしていきます。
- ・「向こう三軒両となり」高齢化と過疎化が進む中、近隣同志のつながりを大切にし、現況を知り助け合いを深めていきます。



⑩ **「高齢者等安否確認連絡会」の充実と見守りの強化をはかる。**

過疎化が進み、高齢の一人暮らし世帯が増加している現状を踏まえ、民生児童委員をはじめ山野町内会連合会・福祉を高める会・郵便局・JA・警察等各種団体に組織し、個人情報保護を確保しながら高齢者の家を廻り、安否の確認に努めます。

⑪ **敬老会の開催を継続する。**

山野町も100歳を超える地域となりました。過疎化と高齢化を迎える中、山野町に貢献された高齢者に敬意を表しお祝いをします。生きている喜びをかみしめ更に元気で過ごしてもらえよう引き



山野町の最高齢者の方にお祝い

続き敬老会実行委員会を結成して、地域の高齢者を含めた協力員の支援も得ながら開催します。

⑫ 高齢者支援

・「お出かけ支援会」の運営を継続する。

交通手段がなくお出かけに困っているおおむね75才以上の高齢者を対象として、2009年(平成21年)9月に福山市の支援を受け「お出かけ



開設当時のTVインタビューとお出かけ支援車

支援会」が発足しました。農協・キラリやまの・郵便局・山野分所・診療所に送迎します。

引き続き、買い物支援事業と合わせて高齢者の住みよいまちづくりを目指していきます。

・「買い物支援会」の運営を継続する。

「買い物支援会」は2013年(平成25年)9月に福山市から支援を受け発足しました。おおむね65才以上の高齢者から、電話での注文を受け



買い物支援 オープニング セレモニー

「キラリやまの」の商品を金曜日の午後、自宅まで配達します。高齢者が「山野に住んでよかった」といえることを目指し継続していきます。

・「キラリやまの」の経営を継続する。

山野町内に商店がなくなり、このままでは町民、特に多くの高齢者が買い物に困ることになるということで、農協女性部の人たちが中心となり、福山市協働の



地元野菜の販売コーナー

まちづくり基金「ふくやまの魅力づくり事業」の支援を受け、2006年（平成18年）8月にスーパー「キラリやまの」を立ち上げました。

スタッフの高齢化や消費者の減少傾向等の課題を乗り越えながら、ボランティアで経営をしています。出来るだけ地産地消とし、高齢者の食生活に不便を感じさせないように継続していきます。

営業時間 9:00～16:00（冬は14:00まで）
販売品 食料品 惣菜 農産物 日用雑貨品 飲み物 など



店舗 「キラリやまの」



やまの里山クラブが耕作放棄地で栽培し加工した小麦粉やそばの長寿飴も販売しています。

⑬ 福祉事業

・グループホームの誘致と設置に向けての調査検討をする。

グループホームの施設設置を利便性の高い地元山野町にとの住民の願いがあり、包括支援センターや福祉施設と相談しながら実現を目指します。

・高齢者を対象にお弁当の配布を企画実施する。

福祉を高める会・やまの里山クラブ・キラリやまのが、中心となり高齢者へお弁当の配布を検討します。

IV. **安心安全**

⑭ 防災意識の啓発をする。

・風水害・土砂災害危険箇所の確認と避難計画の策定をする。

全国各地で多くの土砂災害が度々発生していますが、山野町もよそ事ではありません。危機感を持って事前の対応と備えをしておく必要があります。山野地区自主防災組織が、主体となり町内会連合会や福山市消防団山野分団と共に避難計画の策定をし、町内全員で共有するための情報を発信します。町内会連合会を通して各戸に配布する、避難計画や危険箇所と災害時の対応等を事前に把握確認しましょう。

広島県や福山市は、土砂災害から生命や財産を守るために、いろいろな施策を行っています。福山市の「土砂災害ハザードマップ」には多くの情報が掲載されています。

土砂災害警戒区域の指定区域は、下記インターネットの「土砂災害ポータルひろしま」から閲覧出来ます。

アドレス <http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp>

福山市土砂災害ハザードマップは、下記のアドレス の対象エリア「02山野・広瀬地区」で閲覧出来ます。

アドレス <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/bosai/hazard/index.html>

・避難行動要支援者（災害時要援護者）の避難支援制度登録を推進する。

福山市では、災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者（避難行動要支援者）に対し、地域の中で素早く安全に、安否確認や避難誘導等の手助けが行われる体制づくりを進めています。風水害や地震等の災害に備えて、地域の避難支援団体 民生児童委員へ必要な情報を提供することで、地域の助け合いにより高齢者や障がい者など被災リスクの高い要支援者を、安全な場所へ避難させる体制を整えます。

・火災予防運動や年末の特別警戒を実施すると共に安全資料を配付する。

福山市消防団山野分団と防火協会により、山野町の皆さんが、防火に関する意識や防災行動力を高めて火災の発生を防ぎ、万が一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守るために、火災予防運動や年末の特別警戒を実施します。

・住宅火災警報器の設置 について広報と勧奨等をする。

設置が義務づけられた**住宅火災警報器の設置** について広報と勧奨等を行います。

・救急箱の設置と非常持ち出し袋の整備を進める。

山野地区自主防災組織が、各町内会の集会所に**救急箱**の設置整備を進めます。

各家庭においては、避難生活で必要となる防災グッズがセットされた**非常持ち出し袋**を備えるよう備品の紹介と広報をしていきます。



⑮ 自主防災訓練を実施する。

山野地区自主防災組織が主体となり、年1回、人命確認を合わせた避難訓練や消火訓練・救命訓練・応急手当・AED（自動体外式除細動器）の取り扱いや研修・訓練等を実施します。



公民館に設置の AED

〈 追記 〉

避難時に家族全員が建物から安全に避難できたことを表示するため「黄色い布」を玄関外周囲に掲示するよう決定されています。

AED は、山野小中学校・山野ふれあいプラザ・山野公民館・田原公会堂入口 に設置されています。



ガスコンロ火災の消火訓練と講習風景

⑩ 「救急医療情報ケース」を各家庭に整備する。

かかり付け医療機関や持病・連絡先などの個人情報をシートに記載して「救急医療情報ケース」に入れ、各家庭の冷蔵庫に保管しておき、消防署の救急隊が駆けつけたとき情報を提供します。

(注 - 状況によって救急隊員が必要と判断した場合に限り利用されるので、記載されている医療機関以外に搬送される場合もあります。)

深安消防署や山野地区自主防災組織・山野町会内連合会・山野町福祉を高める会等と連携をとり、この「救急医療情報ケース」と情報シートを各家庭に配布します。

記載される情報については、常に新しい内容となるよう更新を広報で案内していきます。



救急医療情報ケースの例

⑪ 交通安全の意識向上と道路の点検整備をする。

- ・安全自治会が、安全意識の向上を目指し交通安全講習会を開催します。
- ・道路の危険個所の点検を行い、視界を妨げる雑木の伐採をし除草をします。
不備な道路設備があれば行政に依頼して、修繕改修をしていきます。
- ・通学路の安全監視をします。

⑫ 山野町内の幹線道路の改良整備を推進する。

- ・県道加茂油木線等整備促進協議会が、県や市へ要望し、東の免地域まで県道加茂油木線は整備されてきました。道路改良と整備を池尻・田原地区へと延伸していきます。また、環状2号線改良促進会により、災害時にはバイパスの役目も担う市道環状2号線(池尻高尾線)と市道等の改良・整備も合わせて進めていきます。



「東ノ免橋」の開通式 (2015年3月27日)

⑱ 環境整備と清掃活動の推進をする。

- ・ボランティアの会・まちづくり推進委員会が、各町内会の主要道路を一斉清掃し安全と美観に努めます。また、山野川の水質を保つために、ごみ拾いを行い環境整備にも努めます。そして、蛍が舞う自然豊かな山野川の再生を目指します。



主要道路の一斉清掃

- ・リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（ごみの再生利用）の優先順位で廃棄物の削減に努め、家庭ごみについては分別処理の実施を広報していきます。



資源再利用の研修会



資源再利用研修会（プラスチックごみのリサイクル）

V. **交流体験**

⑳ **田舎暮らしの体験を通して交流する。**

・小麦・そば・大根・薩摩芋・カボチャなどを栽培します。そば打ち会・花見会・柚子味噌やマーマレードづくりの講習会を開催します。山羊とのふれあいを通して町内外の方と体験交流をはかります。山野の自然の良さを知って頂き、田舎暮らしの体験を通して、山野に定住を勧めていきます。



上市放牧場の山羊(やぎ)

㉑ **各種祭りの開催を通して交流する。**

・山野の四季折々の特色を活かした祭りを通して、6月に「山野ほたる祭り」・8月に「山野ふれあい夏祭り」・10月に「水車と語りん祭」と4年に1度の「山野ふるさと祭り」をそれぞれの実行委員会や山野民俗資料保存会が開催し、地域の繋がりを深めると共に町外の方と交流をはかります。

㉒ **スポーツ大会の開催を通して交流する。**

・山野学区体育会と山野小中学校が、9月下旬に「山野学区民体育大会」・3月に「ゲートボール大会」を開催します。まちづくり推進委員会は、10月下旬に「グラウンドゴルフ大会」を開催します。スポーツを通して、地域の交流をはかり、生きる力の一助とします。



山野学区民体育大会



②③ 「山野めぐり」の開催を通して交流する。

まちづくり推進委員会や山野民俗資料保存会が、県立自然公園内の龍頭峽を散策しながら「山野の植物観察会」や山野町内一円を巡る「山野史跡めぐり」を開催します。町内外の方に呼びかけ、一緒に山野の豊かな自然にふれ史跡を巡ることにより山野の良さを知ってもらい合わせて、交流をはかります。



山野龍頭峽の植物観察会

②④ 世代間の交流をはかります。

山野民俗資料保存会の会員とまちづくり推進委員会が、小学生を対象として7月に「子どもの遊び道具づくり講習会」と12月に「注連縄づくり講習会」を開催します。年齢差を超えて、昔の遊び道具や注連縄づくりを通し思い出づくりと世代間の交流をはかります。



子どもの遊び道具づくり講習会



注連縄づくり講習会

8. 山野学区まちづくり行動計画表 (基本推進事業の内容と役割分担)

分類	基本推進事業	No	事業項目	事業番号	事業内容	目標達成時期			解決手段 区分	実施主体	備考	
						短期	中期	長期				
II	資源活用	⑧	先人遺産の保護と活用	28	山野の民俗資料を収集し、整理展示すると共に保存管理を行う。	○	○	○	行政協働	山野民俗資料保存会 郷土資料保存会	福山市文化課	
				29	民俗資料のふれあいと美演を企画し開催をする。	○	○	○	学区		山野民俗資料保存会	福山市文化課
				30	郷土資料(役場文書)の紹介と有効利用を検討する。	○	○	○	協働			県立文書館
				31	山野民俗資料館の修繕改修を要望していく。	○	○	○	行政協働			福山市文化課
				32	高齢者が集い、食事をし語り演奏を楽しむ「高齢者と語る会」を企画開催する。	○	○	○	学区			福祉を高める会
III	高齢者福祉	⑨	高齢者のコミュニケーションとつながり	33	高齢者の健康促進とコミュニケーションを目指し、「ひまわりサロン」を開催する。	○	○	○	学区	山野女性部・福祉を高める会		
				34	「向こう三軒両隣」のご近所同志がつながりがりを大切にいく。	○	○	○	学区			町内会連合会
		⑩	高齢者等の見守り	35	組織を充実し連携して、個人情報保護の確保をしながら高齢者等の見守りをする。	○	○	○	協働	民生児童委員・福祉を高める会・JA・郵便局・警察他	市 高齢者福祉課	
				36	高齢者に敬意を表しお祝いをするため、実行委員を組織し敬老会を開催する。	○	○	○	行政協働	敬老会実行委員会		
		⑪	敬老会の開催	37	高齢者を対象に町内のお出かけ支援事業を実施する。	○	○	○	行政協働	お出かけ支援会	市 高齢者福祉課	
				38	買い物が困難な高齢者の買い物支援事業を実施する。	○	○	○	行政協働	買い物支援会・キラリやまの		
		⑫	高齢者支援	39	高齢者にとって無くてはならない店舗「キラリやまの」の経営を継続する。	○	○	○	行政協働	キラリやまの	ふくやまの魅力づくり事業	
				40	グループホーム施設を地元へ誘致する調査・研究・検討を継続する。	○	○	○	学区	福祉を高める会・やまの里山クラブ・民生児童委員他		
				41	高齢者を対象にお弁当の配布を企画し実施する。	○	○	○	学区	福祉を高める会・やまの里山クラブ・キラリやまの		
		⑬	福祉事業	42	風水害・土砂災害危険箇所確認と避難計画の策定をする。	○	○	○	学区	地区自主防災組織・町内会連合会	土砂災害ハザードマップ	
43	避難行動要支援者(災害時要援護者)の避難支援制度登録を推進する。			○	○	○	行政協働	民生児童委員	福山市			
44	火災予防運動や年末の特別警戒を実施すると共に安全資料を配付する。			○	○	○	学区	消防団山野分団・防火協会 消防後援会				
45	住宅火災警報器の設置について広報と勧奨をする。			○	○	○	学区					
46	各町内会の集会所に救急箱の設置整備を進める。			○	○	○	学区	地区自主防災組織 町内会連合会				
⑭	防災意識の啓発	47	防災グッズがセツトされた非常持ち出し袋を備えるよう備品紹介と広報をする。	○	○	○	学区		深安消防署			
		48	避難訓練を実施する。	○	○	○	行政協働	地区自主防災組織 町内連合会 消防後援会				
		49	消火栓・消火器を利用した消火訓練を実施する。	○	○	○	行政協働					
		50	救命訓練・応急手当・AEDの取り扱い研修訓練等を実施する。	○	○	○	学区					
		51	消防水利の確保と防火水槽の清掃	○	○	○	学区	消防団山野分団・防火協会				
⑮	自主防災訓練の実施	52	救急医療情報ケースとシートを全戸に配布し、最新情報に更新を勧奨する。	○	○	○	行政協働	地区自主防災組織 町内会連合会	深安消防署			
		53	交通安全講習会を開催する。	○	○	○	協働	交通安全自治会				
		54	県道の除草と見通しの悪いカーブの雑木を伐採する。	○	○	○	学区					
		55	道路の危険箇所及び安全施設の点検と修繕改修を行う。	○	○	○	行政協働	交通安全自治会・PTA・小中学 校・土木常設				
		56	通学路の安全監視をする。	○	○	○	学区					

8. 山野学区まちづくり行動計画表 (基本推進事業の内容と役割分担)

分類	基本推進事業	No	事業項目	事業番号	事業内容	目標達成時期			解決手段 区分	実施主体	備考		
						短期	中期	長期					
IV	安心安全	⑮	道路の改良整備	57	県道加茂油木線の道路改良と整備を進める。	○	○	○	行政協働	県道加茂油木線等整備促進協議会	広島県		
				58	市道環状2号線(池尻高尾線)の改良と整備を進める。	○	○	○				町内会連合会・土木常設	福山市
				59	市道等の改良と整備を進める。	○	○	○					
		⑯	環境整備と清掃活動	60	各町内会で、道路を中心に一斉清掃を実施する。	○	○	○	学区	ボランティアの会	福山市		
				61	山野川の美観と水質保全のためにごみ拾いを行う。	○	○	○					
				62	家庭ごみの分別を広報し徹底していく。	○	○	○					
				63	小麦・そば・大根・薩摩芋・カボチャなどの栽培を通して体験交流をする。	○	○	○					
V	交流体験	⑳	田舎暮らしの体験交流	64	そば打ち会・花見会を通して体験交流をはかる。	○	○	○	学区	やまの里山クラブ 他	市の里山里地協力隊		
				65	柚子を収穫し、柚子味噌やマーレードづくりの講習会を開催し交流をする。	○	○	○					
				66	山羊とのふれあいを通じて体験交流をする。	○	○	○					
				67	「山野ほたる祭り」を開催する。	○	○	○					
				68	「山野ふれあい夏祭り」を開催する。	○	○	○					
				69	「水車と語りん祭」を開催する。	○	○	○					
				70	「山野ふるさと祭り」を開催する。	○	○	○					
㉑	スポーツ大会の開催	71	「山野学区民体育大会」を開催する。	○	○	○	学区	まちはづくり推進委員会	山野学区体育会 山野小中学校	山野民俗資料保存会			
		72	「ゲートボール大会」を開催する。	○	○	○							
		73	「グラウンドゴルフ大会」を開催する。	○	○	○							
		74	「山野の植物観察会」を開催する。	○	○	○							
		75	「山野史跡めぐり」を開催する。	○	○	○							
		76	「子どもの遊び道具づくり講習会」を開催する。	○	○	○							
		77	「注連縄づくり講習会」を開催する。	○	○	○							

9. おわりに

交通が便利で、商業施設や働く場所が多い都市に人口が集中して、多くの中山間地域の人口が減少に転じていくのは、全国的な状況でありやむを得ないことかもしれません。山野も同様に過疎と少子高齢化が進行していく状況は変わらないでしょう。

しかし、わたしたちは、都市のような生活を求めているわけではありません。静かで、自然に恵まれた山野が好きだからです。山野町民は陽気で、たくましく助け合っ
て生活をしています。有害鳥獣の出没にも負けず、柵をして田畑を守り続けています。農業に汗を流し、会社に勤め、一生懸命働いて充実した生活を送っています。そして、多くの町内行事にかかわっている人たちがいます。

わたしたちは、この豊かな山野の自然に恵まれ、人情熱いこの山野の地で支えあい、つながりが深い「山野に住んでよかったといえるまちづくり」を進めていきたい
と思います。

《 山野学区まちづくり計画の策定 》

策定委員会 山野まちづくり推進委員会

池田 栄 井上吉弘 川相優二 楠本綾子 世良基正

福島秀裕 藤井信之 藤本 勉 松岡ゆみ子 水田哲夫

水田正希 三宅和夫 森原宏治

公民館主事

池田佐知子 笠原一彦

山野町内在住者 アンケート

集計 と グラフ

実施期間

2009年12月15日 ~
2010年1月10日 ころ

福山市キーワードモデル事業
～ まちづくり推進事業 ～

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」 座談会

山野町内在住者 アンケート

目次

設問内容

- 1 A ① 回答者の年代
- 2 A ② 回答者の性別
- 3 A ③ 回答者の家族構成
- 4 A ④ あなたの仕事は
- 5 A ⑤ 山野在住期間
- 6 B ① 住んでる山野についての思い
- 7 B ② どんなところが住みよいですか。
- 8 B ③ 山野の住みにくいところ
- 9 B ④ 山野に住んでいる理由
- 10 B ⑤ 山野に住み続けたいと思うか。



山野町の人口

山野町の人口推移

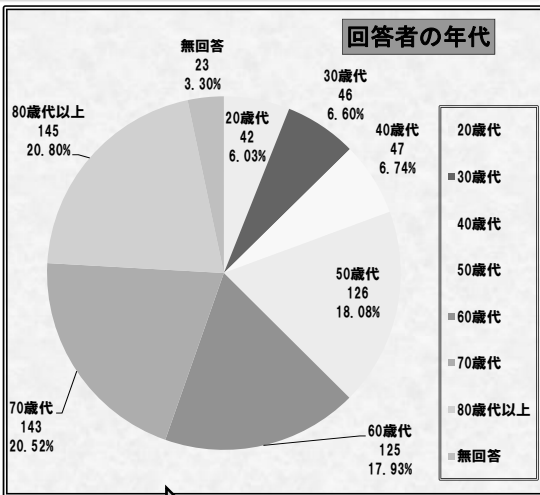
- 11 C ① 小規模学校についてあなたの考え、気持ち
- 12 C ② 小中学校の存続対策
- 13 C ③ 山野の学校へ来てほしいという人を知っている
- 14 C ④ 子どもが山野から出ている思い
- 15 D ① 少子高齢化に危機を感じますか
- 16 D ② 高齢者の日常生活においてどのような問題が発生していると思うか
- 17 D ③ 介護が必要になった場合、どのような方法になると考えられるか
- 18 D ④ 少子高齢化が進む今、すべきことは何だと思いますか。
- 19 D ⑤ 前問 ④ のことを進めるためにどうしたらよい
- 20 E ① 活性化や地域交流活動のためにできることは

年代別アンケート有効回答者数

アンケートの対象者数と回答数

A ① 回答者の年代

①	あなたの年代	有効回答数	対象者数	有効回答比率
		674	780	86.41%
1	20歳代	42	61	68.85%
2	30歳代	46	58	79.31%
3	40歳代	47	55	85.45%
4	50歳代	126	140	90.00%
5	60歳代	125	130	96.15%
6	70歳代	143	336	85.71%
7	80歳以上	145		
8	無回答	23		3.30%
	合計	697	780	89.36%

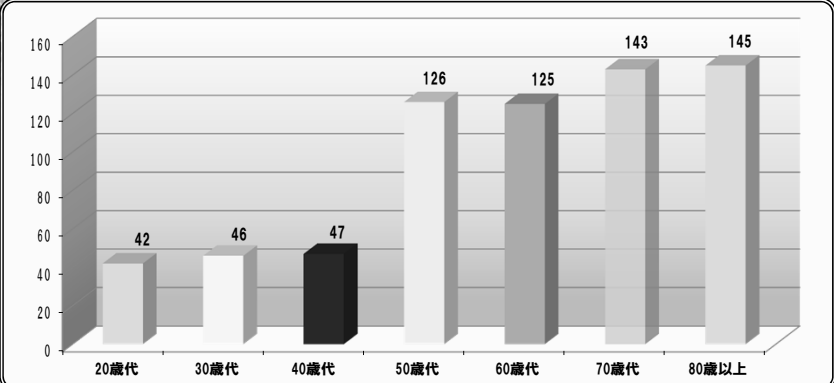


山野町の人口

年代別アンケート有効回答者数

年代別アンケート有効回答者数								回答比率
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計	
42	46	47	126	125	143	145	674人	86.41%

無回答者 23

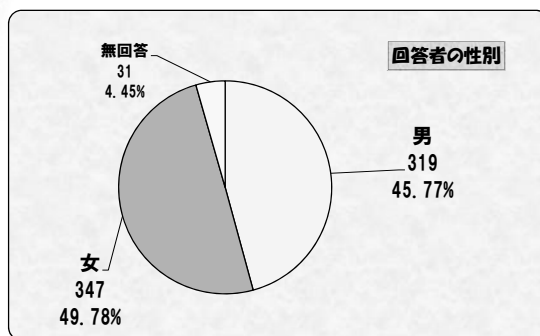


回答者の性別



A ②

②	回答者の性別	697
1	男	319
2	女	347
	無回答	31



2009年12月末
839人

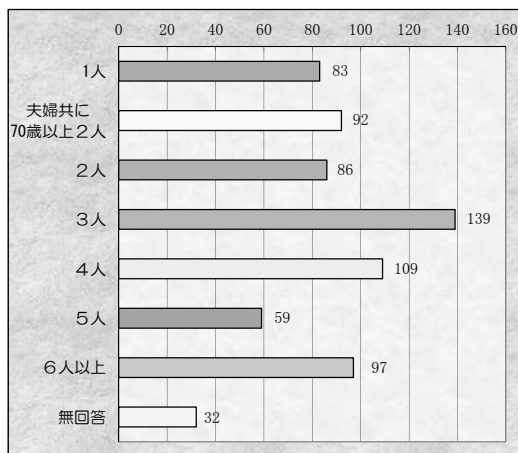
男	女
392人	447人
46.72%	53.28%

家族構成



A ③

③	山野での家族は	697	有効総数
			665
1	1人	83	12.48%
2	夫婦共に70歳以上2人	92	13.83%
3	2人	86	12.93%
4	3人	139	20.90%
5	4人	109	16.39%
6	5人	59	8.87%
7	6人以上	97	14.59%
	無回答	32	



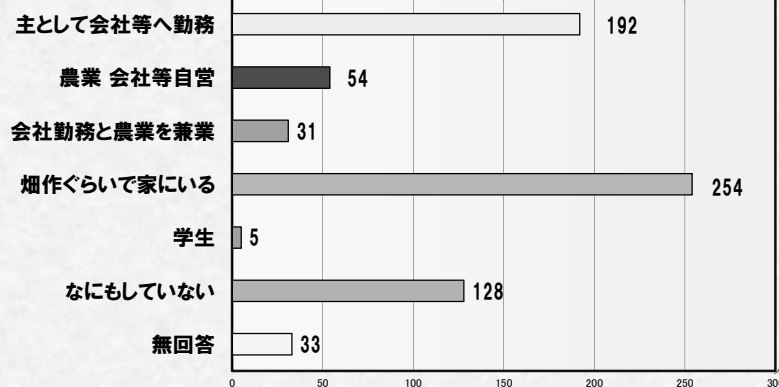
あなたの仕事は

A

④



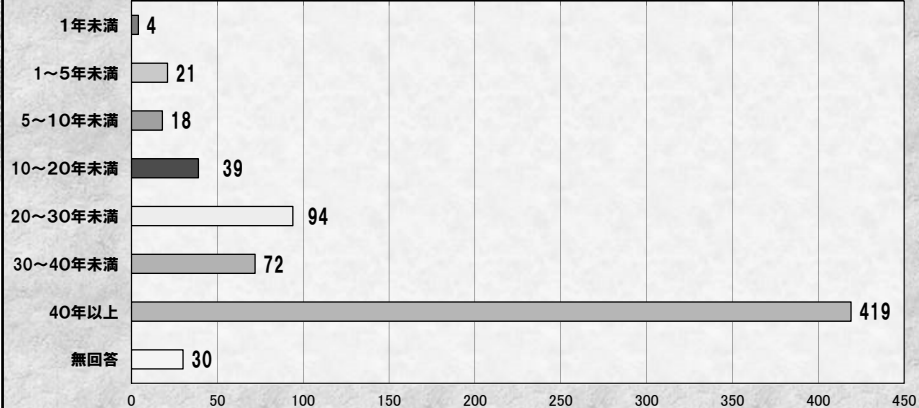
回答者の仕事



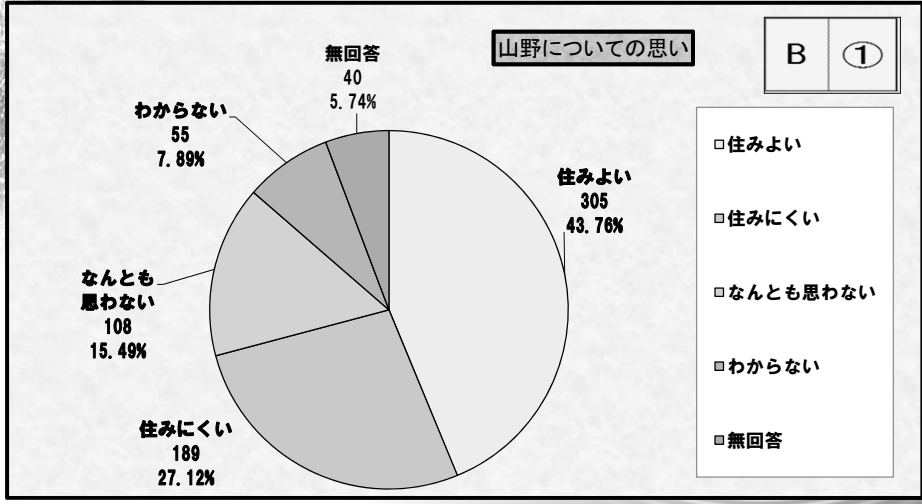
山野在住期間

A

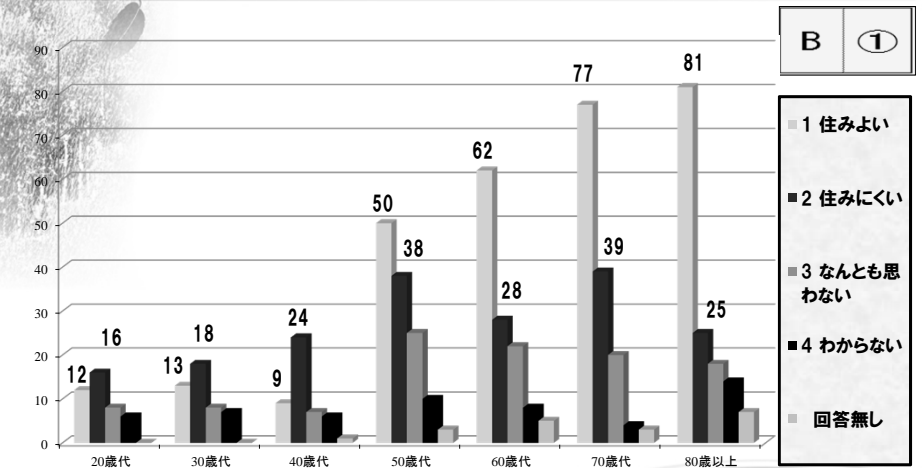
⑥



住んでる山野についての思い



住んでる山野についての思い (年代別)

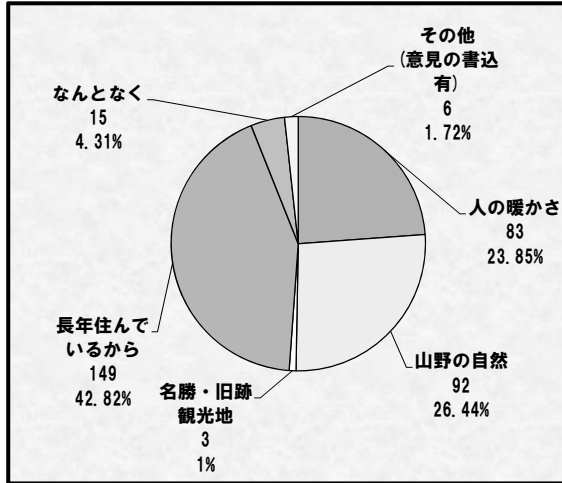


どんなところが住みよいですか。



B ②

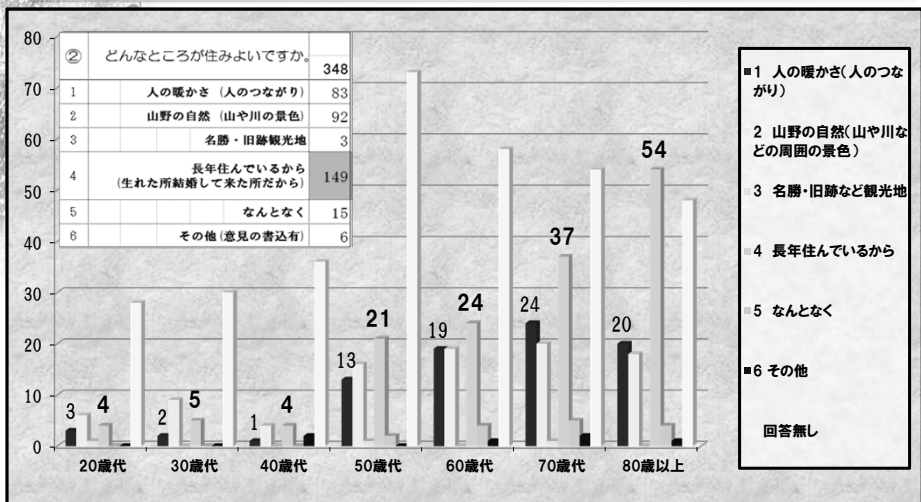
②	どんなところが住みよいですか。	348
1	人の暖かさ (人のつながり)	83
2	山野の自然 (山や川の景色)	92
3	名勝・旧跡観光地	3
4	長年住んでいるから (生れた所結婚して来た所だから)	149
5	なんとなく	15
6	その他 (意見の書込有)	6



どんなところが住みよいですか。 (年代別)



B ②

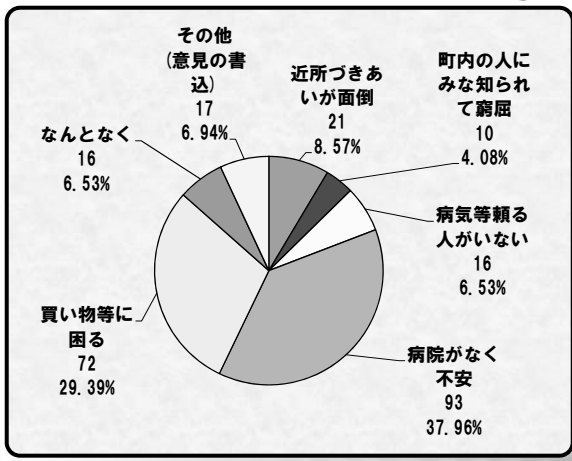


山野の住みにくいところ



B ③

③	どんなところが住みにくいですか。	245
1	近所づきあいが面倒	21
2	町内の人にみな知られて窮屈	10
3	病気等の時、頼る人がいない	16
4	近くに病院がなく不安	93
5	中心部から距離が遠く買い物等に困る	72
6	なんとなく	16
7	その他(意見の書込者)	17



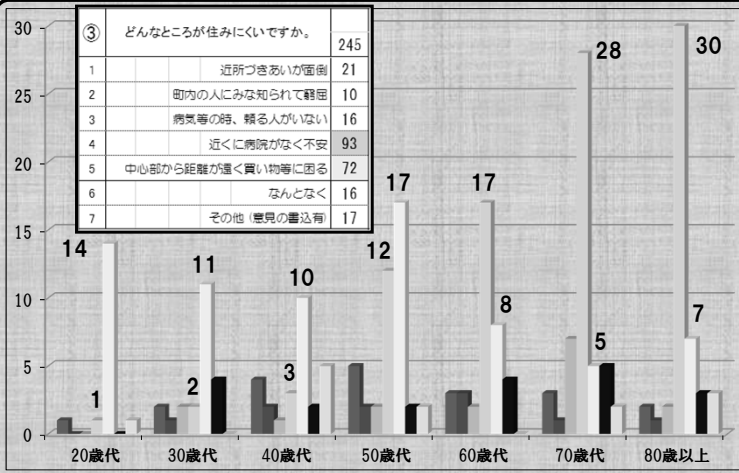
山野の住みにくいところ (年代別)



B ③

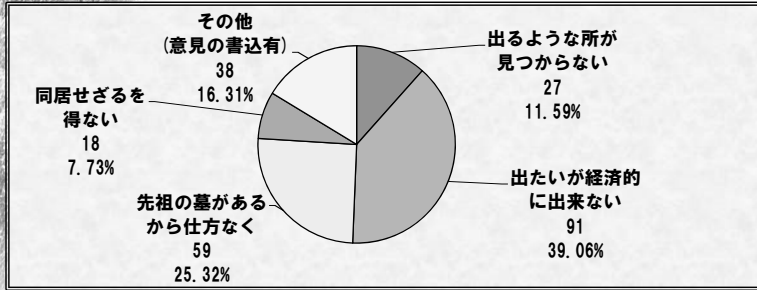


③	どんなところが住みにくいですか。	245
1	近所づきあいが面倒	21
2	町内の人にみな知られて窮屈	10
3	病気等の時、頼る人がいない	16
4	近くに病院がなく不安	93
5	中心部から距離が遠く買い物等に困る	72
6	なんとなく	16
7	その他(意見の書込者)	17

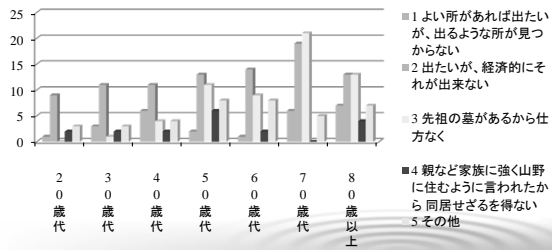


- 1 近所づきあいが面倒だから
- 2 町内の人にみな知られていてなんとなく窮屈だから
- 3 病気等の時頼る人がいないから
- 4 近くに病院がなく不安だから
- 5 福山の中心部から距離が遠く買い物等に困るから
- 6 なんとなく
- 7 その他

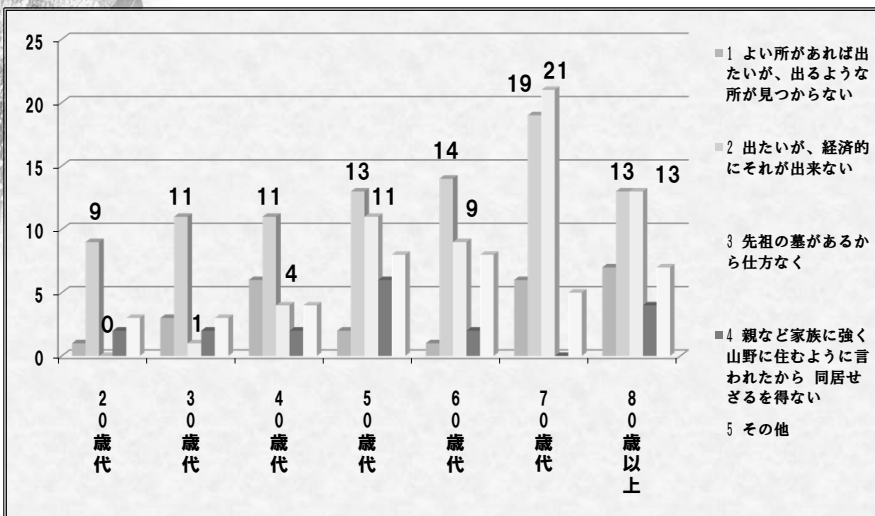
山野に住んでいる理由



④ 山野に住んでる理由	人数
1 よい所があれば出たいが、出るような所が見つからない	27
2 出たいが経済的に出来ない	91
3 先祖の墓があるから仕方なく	59
4 親など家族に強く山野に住むように言われたから同居せざるを得ない	18
5 その他(意見の書込有)	38



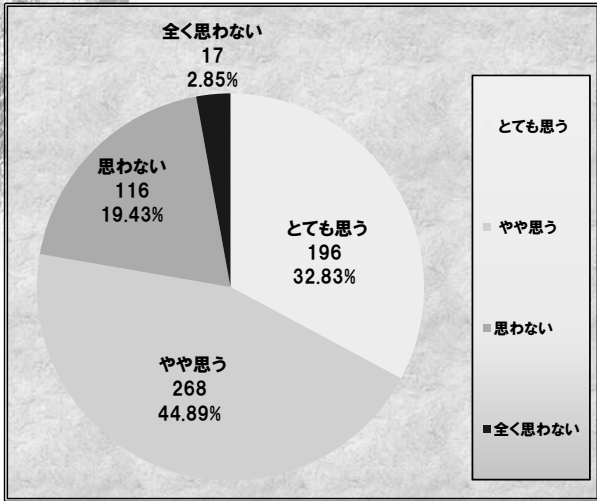
山野に住んでいる理由 (年代別)



山野に住み続けたいと思うか。



B ⑤



464
77.72%

B ⑤	山野に住み続けたいと思うか。	Count
1	とても思う	196
2	やや思う	268
3	思わない	116
4	全く思わない	17
	無回答	100

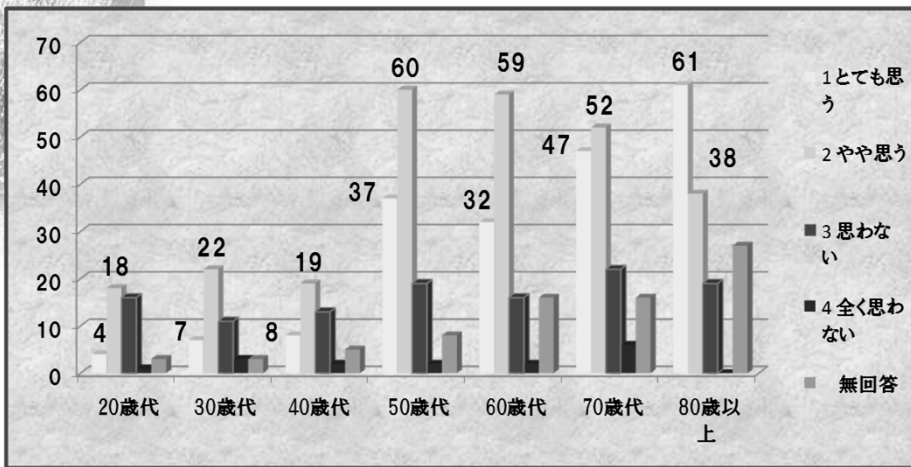
464

山野に住み続けたいと思うか。

(年代別)



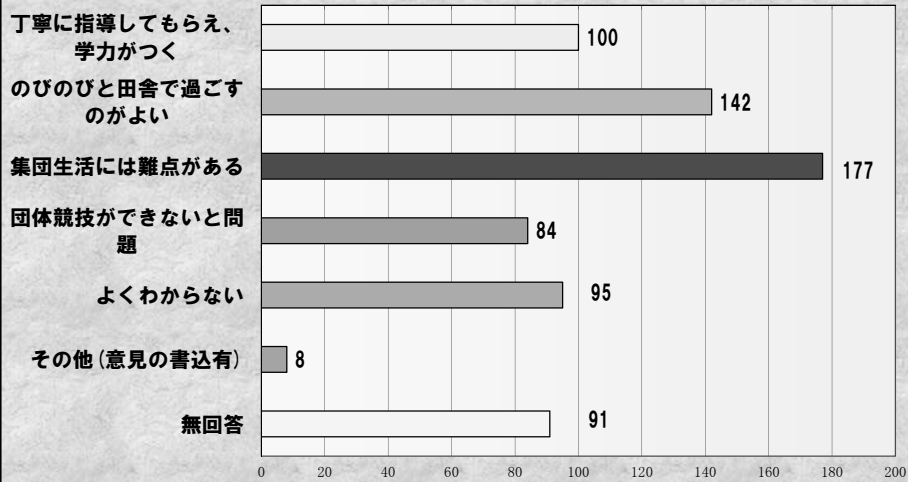
B ⑤



小規模学校についてあなたの 考え、気持ち



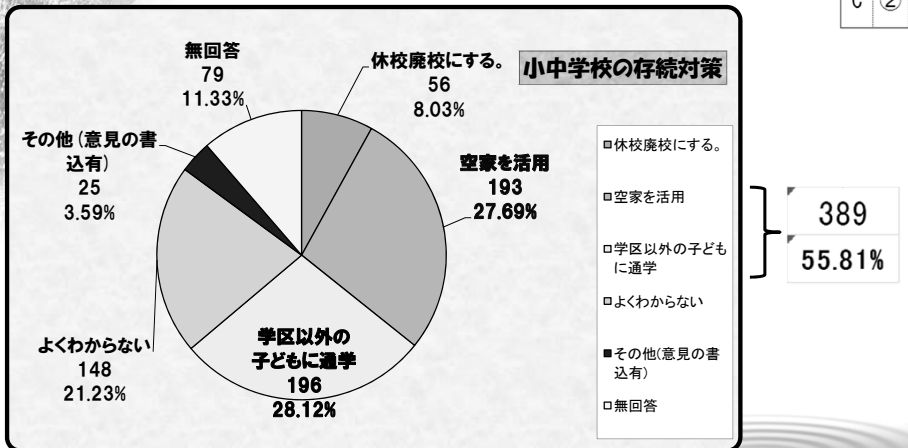
C ①



小中学校の存続対策



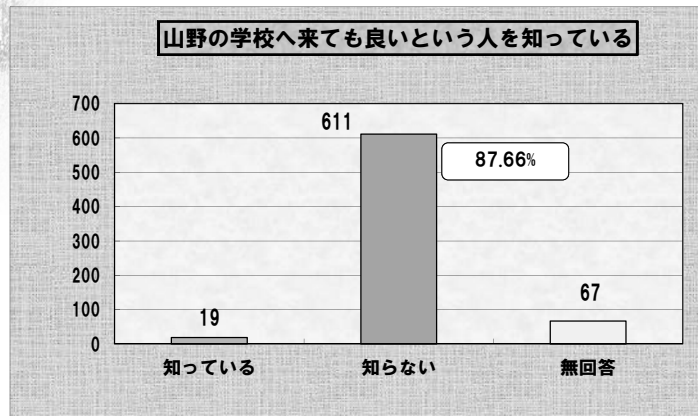
C ②



山野の学校へ来ても良いと いう人を知っている



C ③

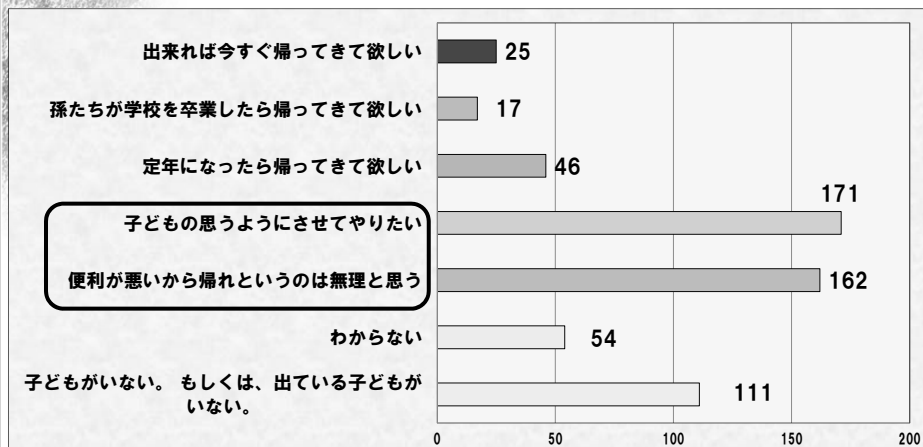


子どもが山野から出ている思い



C ④

子どもが山野から出ていることについてどう思いますか。

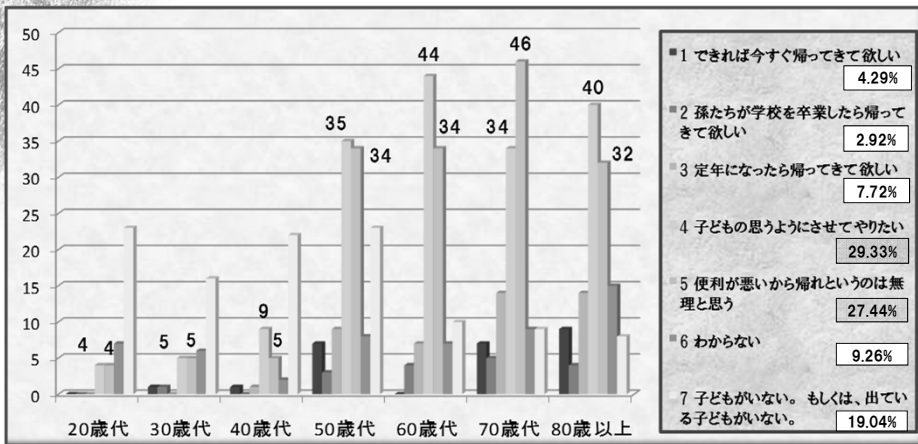


子どもが山野から出ている思い (年代別)

C ④

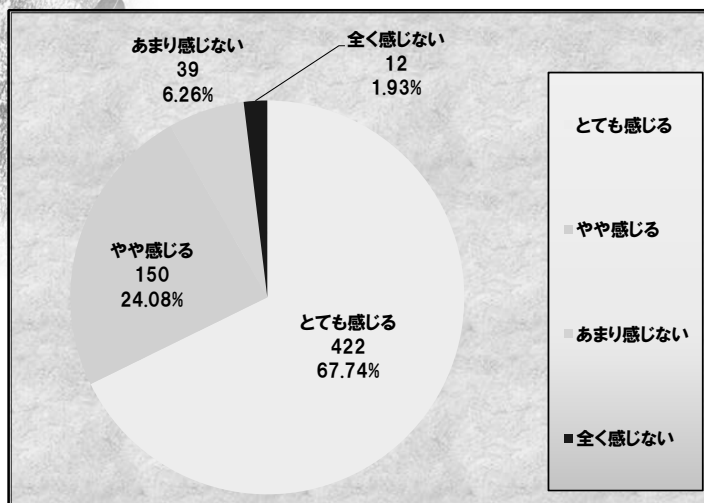


子どもが山野から出ていることについてどう思いますか。



少子高齢化に危機を感じますか

D ①



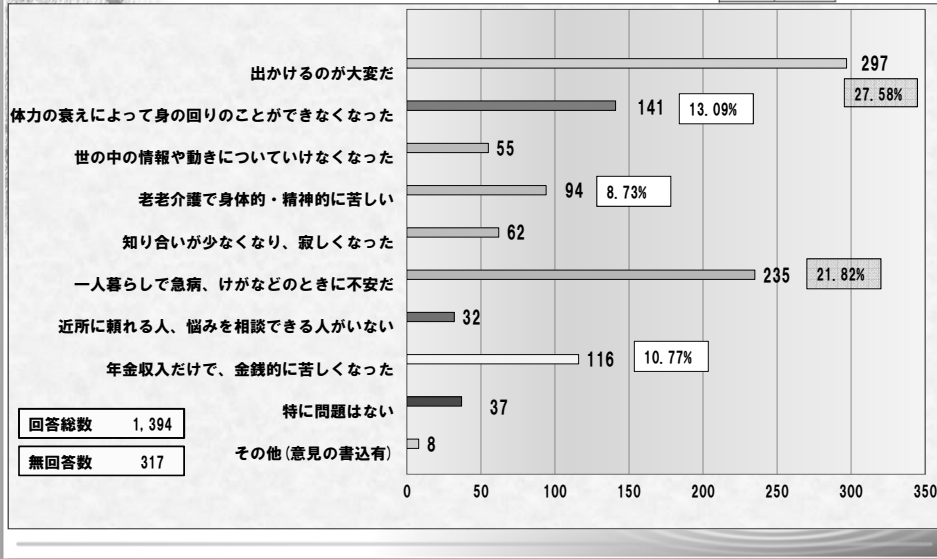
とも感じる
 やや感じる
 あまり感じない
 全く感じない

572
 91.81%
 有効回答比率

有効回答数
 623

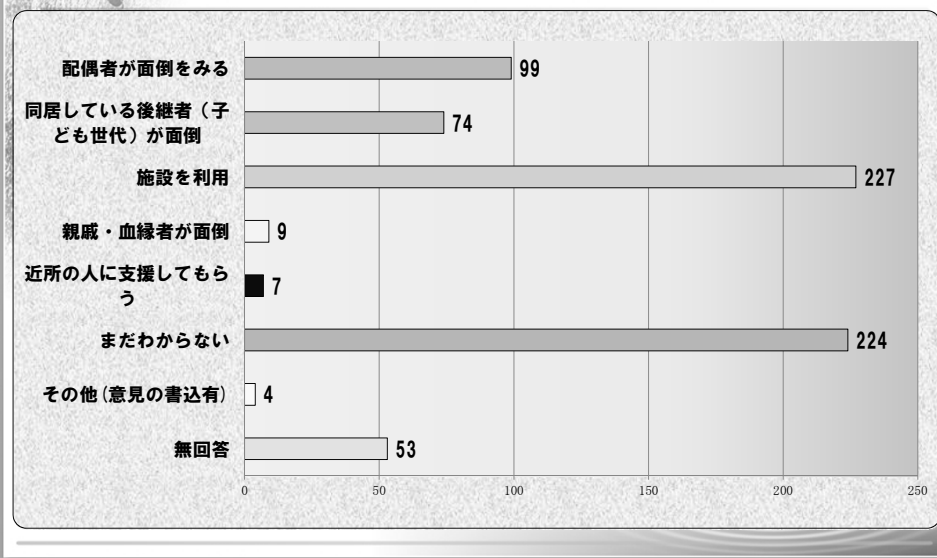
高齢者の日常生活においてどのような問題が発生していると思うか

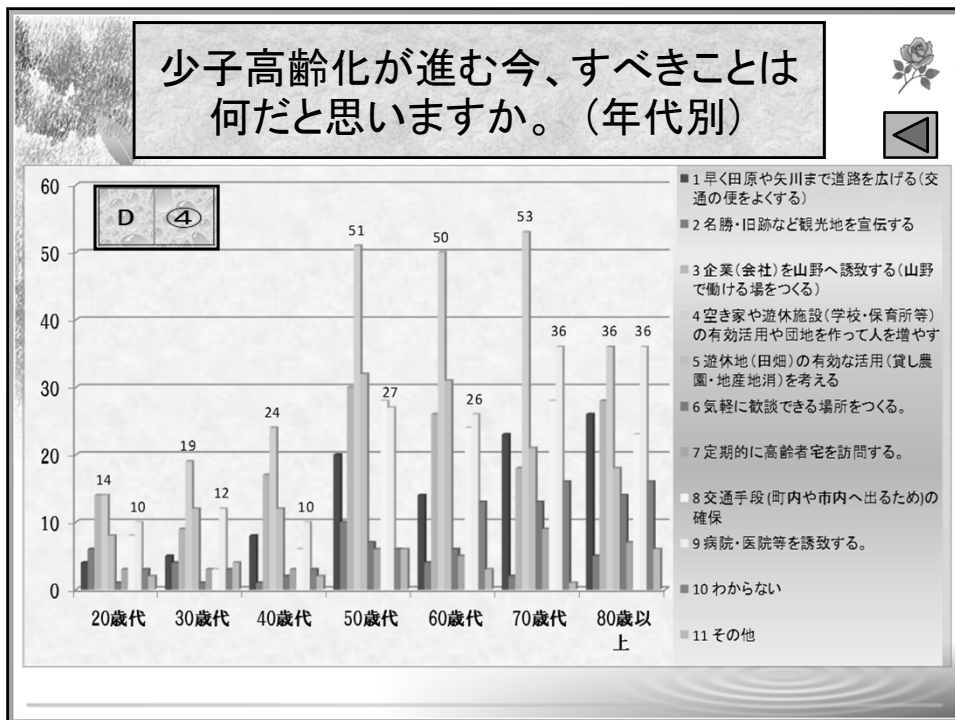
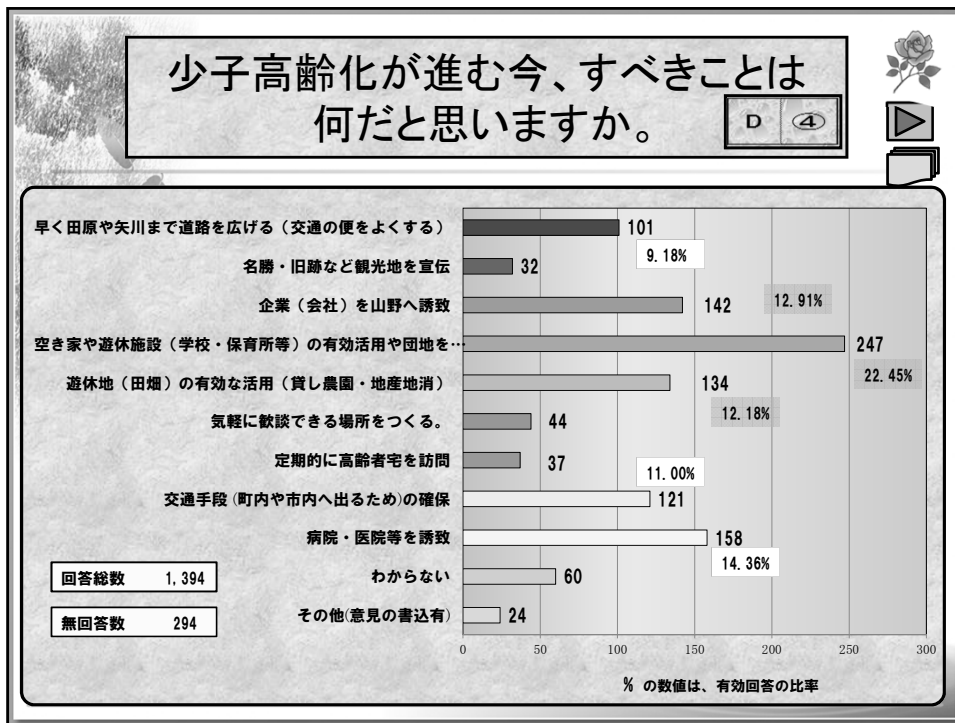
D ②



介護が必要になった場合、どのような方法になると考えられるか

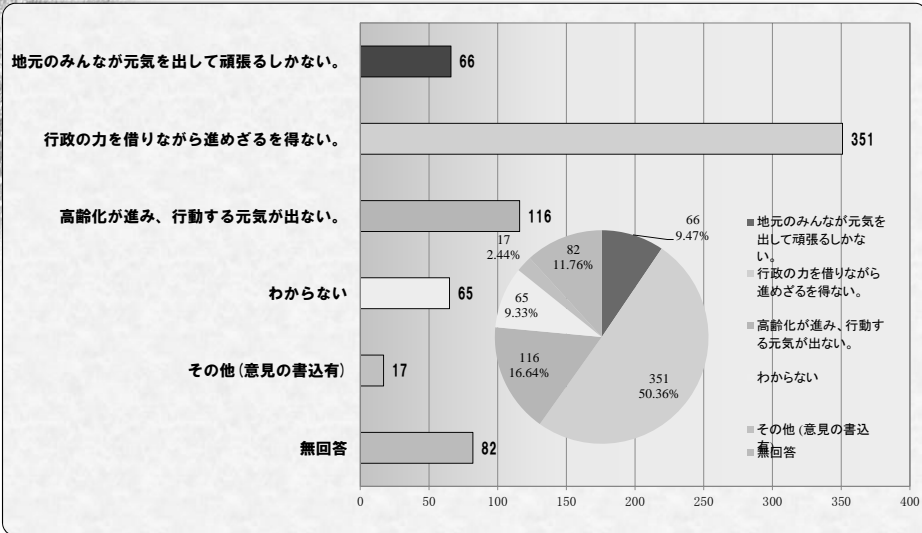
D ③



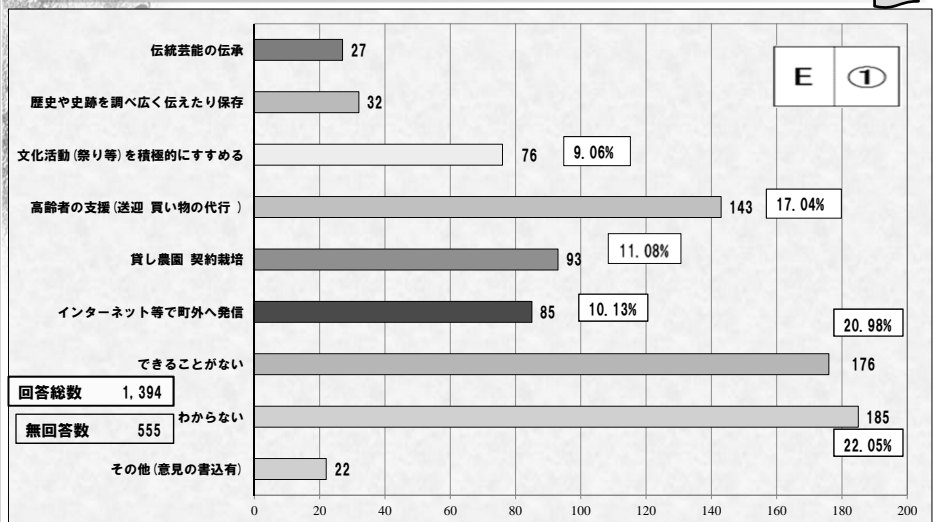


前問 ④ のことを進めるためには どうしたらよい

D ⑤



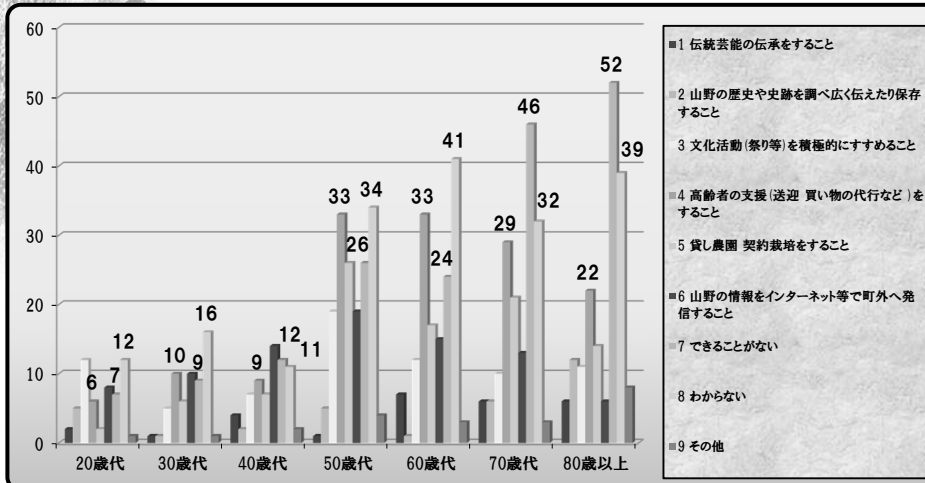
活性化や地域交流活動のために できることは



活性化や地域交流活動のために できることは（年代別）



E ①



活性化や住みよい町になるには、 どんなことをしたらよい

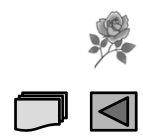


F ①

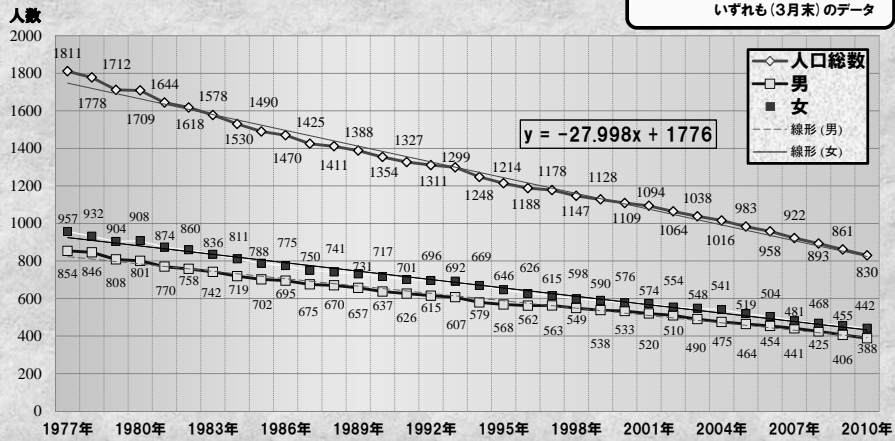
①	活性化や住みよい町になるには、どんなことをしたらよい	件数	割合	詳細は、別紙シートを参照
1	記載無し	417	59.83%	
2	記載有り	260	37.30%	
	無回答	20	2.87%	(すべての設問に対して回答が記載されていない。)



山野町人口推移



表示期間 1977年～2010年
いずれも(3月末)のデータ

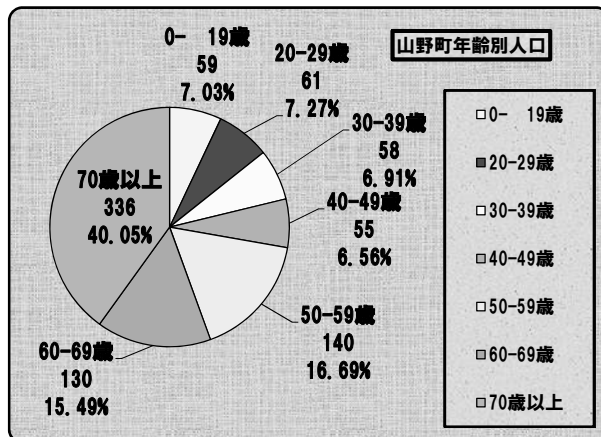


山野町の人口

2009年12月末
839人

年齢別人口	人口比率
0-19歳	59 7.03%
20-29歳	61 7.27%
30-39歳	58 6.91%
40-49歳	55 6.56%
50-59歳	140 16.69%
60-69歳	130 15.49%
70歳以上	336 40.05%
山野合計	839

60歳以上	466人	55.54%
65歳以上	395人	47.08%



山野町の人口



世帯数	人口総数	男	女
348	839	392	447

集計月
2009年12月



0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
5	6	21	27	31	30	29	29

40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上
19	36	63	77	71	59	85	251

65歳以上 395 人 47.08%

2015年3月末 山野町の人口

参考
資料



世帯数	人口総数	男	女
352	733	334	399

2015年(H27年)
3月末現在



0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
9	3	6	21	34	34	24	22
40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75歳以上
26	22	38	60	72	69	57	236

65歳以上	362 人
高齢化率	49.39%

山野町内在住者 アンケート

自由記載の設問内容

**あなたは「住みやすいまちづくり」
についてどんなことをしたら
よいと思いますか。**



アンケート実施時期

2009年12月15日～

(平成22年)

2010年 1月10日ごろ

福山市キーワードモデル事業
～まちづくり推進事業～

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」座談会

町内住者アンケート 集計表

実施期間 2009年12月15日
2010年 1月10日

福山市キーワードモデル事業
～まちづくり推進事業～

その他の記載 No. F - ②

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」座談会

対象者数	780	回収率	記載件数	記載件数率
回収数	697	89.36%	23	3.30%

設問	あなたは「住みやすいまちづくり」についてどんなことをしたらよいと思いますか。
----	--

チェック欄	No.	アンケート		11 その他の記載内容
				A コミュニケーション 交流
	5			出来るなら自宅の離れ家を改造し、歌でも歌ったり悩みを話したり憩いの家として、老人たちを慰めたいと思う。老人ホームを造ることが夢です。
	11			近所と話し合い協力しあう。
	17			高齢者が多く互いに協力しあう。
	24			各種団体が消極的できえつつある。積極的に団体参加して頑張れば少しは安心出来るかも
	34			近所の人と仲良く助け合うようにする。
	36			各町内会の人達が協力思いやりの心が大事なような気がします。
	38			地元にて協力して頑張る。
	39			若いものを大切にする事。
	47			積極的に村お越しをしたら良いと思います。
	52			地域の行事に積極的に参加して交流を深める。
	59			人間づきあいだけです。そのために心と心を通じ合う。 〇〇のような生活ができる。
	75			自由に意見が言える場所と実行するための組織。
	81			コミュニケーションの場。
	92			若者があつまる行事をする。
	94			隣近所がとても仲良くすること。
	99			学校がなくなってしまうと、益々高齢化になり子育てをする年齢の者がいなくなる。 どうにか学校維持の対策を考えていかなければいけない。 企業誘致して労働できる(若者の)環境づくりも必要。
	102			ご近所どうし支えあって暮らしていく。
	110			人の集まるようなことをしてほしい。
	112			話し合い。
	129			助け合いが少ないのでコミュニケーションを多くできるようにする。
	131			イベント等は続けてほしい。
	133			山野をもっと知ってもらうために作物の収穫祭等をし、外部の人に収穫してもらおう。若い家族
	144			隣近所 助け合うしかない。若い人を頼りにするしかない。

町内住者アンケート 集計表

実施期間 2009年12月15日
2010年 1月10日

福山市キーワードモデル事業
～まちづくり推進事業～

その他の記載 No. F - ②

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」座談会

対象者数	780	回収率	記載件数	記載件数率
回収数	697	89.36%	18	2.58%

設問	あなたは「住みやすいまちづくり」についてどんなことをしたらよいと思いますか。
----	--

チェック 欄	No.	アンケート	11 その他の記載内容	
			A コミュニケーション 交流	
	154		まず最初は地区ごとに集会を開いて話し合いの場を設定し、思い思いを語り合うことから、始めてから、連帯感を持つことからだと思います。	
	158		親友との関係を深め、楽しい人生を送る。	
	160		皆なかよくして、助け合って笑顔で乗り切る。	
	164		助け合う心。	
	167		若い人が出入りすると問題も多いが活気は出るのでは。難しい問題です 答えにくいです。	
	173		気軽に大勢と話し合える機会。	
	175		高齢者が音頭とりを辞める。	
	184		現在は勤めに出ていて朝出たら夜まで帰ってこない。又、地域での催物に出席しなくて 済むところが寂しい。	
	187		地域の交流を高める。	
	190		声かけ運動。	
	206		年代を問わず、まず町内会、隣近所の人間関係を温かく--絆を大切に。	
	207		今は隣は何をする人ぞと言う事ですが、隣どうしをもう少し考えると住みやすい町になる と思います。私にはがい思いをしています。	
	220		笑顔 あいさつ。	
	231		若者との思考交流の企画及び町外との積極的交流。	
	235		皆仲良くすることです。	
	241		人の温かさや人情、親切。	
	242		老人クラブ等積極的に参加して盛り上げたらよいと思う。	
	244		住人同士の交流をもっと活発にするのが望ましい。	

町内住者アンケート 集計表

実施期間 2009年12月15日
2010年 1月10日

福山市キーワードモデル事業
～ まちづくり推進事業 ～

その他の記載

No. F - ②

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」座談会

対象者数	780	回収率	記載件数	記載件数率
回収数	697	89.36%	11	1.58%

設問	あなたは「住みやすいまちづくり」についてどんなことをしたらよいと思いますか。
----	--

チェック 欄	No.	アンケート	11 その他の記載内容
			B 地域資源の活用
	18		人間にとって水は生命。単なるH2Oではない。山野の原点は山野川にある山野の再生は山野川の再生にある。
	27		古民家利用等地元の外へ情報発信。農地貸し利用にての作物出荷等。
	41		空家が簡単に貸して貰えれば入居する人が増えるのでは個人で交渉するのも人によっては大変勇気がいるので。
	43		薬草栽培等。農村公園ではオートキャンプができるとか、皆が利用できるように、ゴミの問題もあるだろうが、子どもの自然体験馬乗山を中心に、その後家族交流等。
	49		休校(学校)をコミュニケーションの場所とか。医療施設をつくる。 キラリ + コンビニを取り入れる。
	68		山野を何時までも自然のあふれる町にすることは、最も大切なことだが、他の団体、企業を受け入れていかないと高齢化と過疎化の歯止めをかけることが出来ない。
	76		まず遊休施設の有効利用(活用)を考えてみたらどうかと思う。
	82		遊休地を利用して山野外の人と交流すること。
	141		自然を守りつつ、デパート等を建てる。
	163		もう高齢なので町外へ出る事が億劫なので例えば休園になっている保育所等で手芸とか編み物とかその他色々 手先を使うことでボケの予防になるのではと思います。
	225		農産物を開発し、若い人の町内永住を計る事が一番大切それには嫁さんの来てくれる町にする事。

町内住者アンケート 集計表

実施期間 2009年12月15日
2010年 1月10日

福山市キーワードモデル事業
～ まちづくり推進事業 ～

その他の記載 No. F - ②

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」座談会

対象者数	780	回収率	記載件数	記載件数率
回収数	697	89.36%	8	1.15%

設問	あなたは「住みやすいまちづくり」についてどんなことをしたらよいと思いますか。
----	--

チェック欄	No.	アンケート	11 その他の記載内容	
			C 福祉 健康	
	90		高齢者ですから隣近所や家内よく気をつけ、お互い身体に気をつける。	
	143		山野にタクシーがないので自分の都合の良いときに何時でも頼めるような交通手段があれば安心できると思います。近所親戚を頼んでも金銭を払いながら気がねをするので福祉タクシーを望みます。	
	147		健康で生きたい。	
	149		取り組みがとても遅いです。無医村では若い人は住まないと考えます。	
	169		若い人をただ入れるだけではだめ。高齢者にやさしい街づくりを外にアピールできるように。	
	195		健康促進。	
	227		町内に医者。	
	233		健康に気をつけ、他人、親族に迷惑をかけない様に気をつける事。	

町内住者アンケート 集計表

実施期間 2009年12月15日
2010年 1月10日

福山市キーワードモデル事業
～まちづくり推進事業～

その他の記載 No. F - ②

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」座談会

対象者数	780	回収率	記載件数	記載件数率
回収数	697	89.36%	10	1.43%

設問	あなたは「住みやすいまちづくり」についてどんなことをしたらよいと思いますか。
----	--

チェック 欄	No.	アンケート	11 その他の記載内容	
			D 情報 発信	
	8		アンケートをこんなふう採って、その願いを叶えられるように努力する。	
	40		山野の良さをもっとアピールする。	
	46		芸能人、有名人をよんで山野の事をPRする事も良いと思う。	
	65		山野町のホームページを作成し、まず山野の事を知ってもらう。そして移住～定住するメリットをアピールする。	
	85		山野から主都へ情報を発信できることを造る。	
	93		不動産屋みたいな明確な家賃なり売り土地のアピールがしてほしい。知り合いに進めやすいため。	
	174		情報を共有する。	
	186		山野ニュース 発行等。	
	201		昔の有線放送は良かったですが少しやかましい所もあったけど、今は何かの離れていても何かの媒体でつながることができます。発信、受信が高齢者でもできる物が有るといいです。電話、無線、PC等つながっているという、安心が得られるもの。	
	217		町内以外の人にイベントや山野の良い所をインターネット等で広告し、空き家を改善。	

町内住者アンケート 集計表

実施期間 2009年12月15日
2010年 1月10日

福山市キーワードモデル事業
～まちづくり推進事業～

その他の記載 No. F - ②

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」座談会

対象者数	780	回収率	記載件数	記載件数率
回収数	697	89.36%	23	3.30%

設問	あなたは「住みやすいまちづくり」についてどんなことをしたらよいと思いますか。
----	--

チェック 欄	No.	アンケート	11 その他の記載内容	
			E 環境 整備	
	1		店を作ったり仕事ができる職場(内職)などを作る。	
	7		店などが少なく近くないから、店などを増やす。(働ける場所を作る。)	
	13		最近の新聞に介護タクシーの事とか 神石高原町の人口流出歯止めの為に住宅団地造成工事が進んでいたりする。山野の地形でこういう事が出来るだろうか と思いながらんでいる。お金のかかることだし・・・6億6千万 4億を国からの交付金をあてると書いてあるけれど気の遠くなる話だ。私には、よくわからない。	
	15		若い人達が住みやすい公営民営の住宅を造る。	
	20		山野内に施設ができればよいと思う。	
	21		雇用を生む企業、老人ホーム等の誘致を行なう。	
	25		市営住宅をつくり企業誘致と共に貸し農園をつくる。	
	26		介護施設をつくる。	
	29		高齢者の一人暮らしでもやまを出ていかなくてよい施設があること。 外からの人を住む、通ってくるを含めて受け入れていくこと。	
	35		特養があればよい。	
	57		収入のあがる働く場所を提供して欲しい。	
	69		老人が安心して暮らせる老人施設ができるとよい。	
	74		①いろいろな人が集える場所づくり。 ②福祉タクシー。山野だけでなく病院買い物ができるように。 ③住んでいる人のニーズを満たすNPO法人を作る。 ④保育所の活用。(保育所や小学校が存続しないと人はでていきます。	
	78		行政か企業により1戸建ての団地を作り一人でも多くの人に山野に住んでもらうようにする。	
	79		基本的な施設の充実(病院等)。	
	80		学校がなくなってしまうと、益々高齢化になり子育てをする年齢の者がいなくなる。どうか学校維持の対策を考えていかなければいけない企業誘致して労働できる(若者の)環境づくりも必要。	
	95		介護施設があつたらいいなと思う。	
	100		福山市の市民が山野町に向いて来る施設を作ることと思います。	
	101		町内で生活できる収入のある仕事。病気の時頼れるお医者。	
	107		人を増やす努力をする。(団地、企業)	
	111		山野の文化色を全面に打ち出して住み易いまちづくりをするのは無理。 衣、食、住の設備を優先してほしい。	
	115		お店があればよいと思います	
	118		若い人達の集団農園、集団林業それにあたり宿泊施設を積極的に設備する事。	

町内住者アンケート 集計表

実施期間 2009年12月15日
2010年 1月10日

福山市キーワードモデル事業
～まちづくり推進事業～

その他の記載 No. F - ②

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」座談会

対象者数	780	回収率	記載件数	記載件数率
回収数	697	89.36%	25	3.59%

設問	あなたは「住みやすいまちづくり」についてどんなことをしたらよいと思いますか。
----	--

チェック 欄	No.	アンケート	11 その他の記載内容	
			E 環境 整備	
	152		企業、病院、スーパーあれば良い。	
	159		道路を広げる。交通の便を良くする。	
	171		産業をおこす。	
	176		学齢期の子どもを増やす施策がある。遊休地を貸し出すなどして定期的に山野に来る人を増やす。	
	177		山野の良さを広く伝え、人口を増やす。その後施設も話し合いで建立し、町づくりを実感できる様にする。	
	188		コンビニが一軒ぐらい有ってもよいと思います。	
	191		若い人が山野で仕事ができる。交通の便が良いこと 川の整備（鮎釣りなど）。	
	194		気軽に歓談できる場所を作る。山野の情報を町内に発信する。	
	196		山野にも老人ホームのような施設ができればありがたいです。大変ですがお願いします。	
	200		企業を誘致して人を増やすのが一番良いと思う。	
	209		山野で働ける場をつくる。	
	229		市街地での家賃の半額程度で入居できる借家の建設。	
	234		老人共同住宅を作る。託児所を託老所にする。	
	237		① テレビ網を引く。 ② 旧学校跡地等利用し、病院等誘致。	
	44		道路の整備。 病院等への送迎。	
	54		交通の便を良くして近くの町山野小学校、中学校に通わせる子どもを増やす努力をする。（若い人達が山野に住みたいと思うように保育所、学校の人数を増やす。）	
	61		人を増やし交通の便をよくする。	
	88		交通公共設備の整備。	
	97		トンネル辺りが冬場凍るので車が送迎しにくいのであの辺りを何とかしてほしい 金もかかるしタイヤもスペアタイヤがいる。	
	124		道路を広げること。川相～山野田原間。	
	125		下市より田原、原谷への県道を広くして車の離合がみやすくなってタクシーや、都会で生活している者（子、孫、親戚）が来やすくなる。	
	132		東の面の道路でも少しでも早く開通してほしい。	
	139		道路を作る。	
	140		道路を良くして交通の便が一日に何回か行ききでき、働ける所が近くにあること。	
	198		福山の中心部に行く直通バスを再現してほしい。	

町内住者アンケート 集計表

実施期間 2009年12月15日
2010年 1月10日

福山市キーワードモデル事業
～まちづくり推進事業～

その他の記載 No. F - ②

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」座談会

対象者数	780	回収率	記載件数	記載件数率
回収数	697	89.36%	27	3.87%

設問	あなたは「住みやすいまちづくり」についてどんなことをしたらよいと思いますか。
----	--

チェック欄	No.	アンケート		11 その他の記載内容	
				E 環境 整備	
	213			幹線道路の拡大。	
	240			道路、インターネットの充実。	
	172			気楽に話し合える人と場所があればと思う。	
	189			農村公園に滑り台などの子どもが遊べる遊具を設備するといいいと思います。	
	6			移動販売車(あらゆる品物)。	
	14			救急車の常時配備(無医町としては、切実)。	
	116			各戸に無線放送設備。	
	168			高齢が進んで墓地に水を持って行くのが大変になったので何とかしてほしい。	
	185			① キラリに協力。 ② ふるさと祭りに協力。 ③ 学習の会合に参加。	
	4			福山市内と市外の差別を無くして欲しい。	
	22			具体的にはわからないが若者がユウターンできる環境づくり。	
	23			山野へ若者が帰って来れるようにする。	
	33			若い人が住んで一人でも多く子ども等がいるようになる事を祈る	
	37			若い世代が山野に帰ることを祈る。	
	62			老人住まいの方の若い人に帰ってもらう。頑張ってもらう。	
	67			国の政策しかない。	
	70			行政が過疎対策を積極的に進めて戴きたい。	
	71			山野へ人を増やす。住む。	
	72			行政の力。	
	89			どうしたら一人でも多く人が住めるか。バスの使命を重んじバスを大事にする。	
	109			人を増やす事。増えるともっと店もできたりとか交通の便も今よりはよくなるかもしれない。	
	113			人を増やす。	
	114			交通の便をよくしてもらいたい。	
	123			核家族にならない様、二世帯、三世帯一緒に住む家族を作るように頑張る。	
	127			町内会が多すぎる。まとまりがない、集約したらいいと思う。	
	130			小団体等の数が多くその団体においての役員負担が大きい。団体の数を減らす。	
	142			町民の協力体制が必要。	

町内住者アンケート 集計表

実施期間 2009年12月15日
2010年 1月10日

福山市キーワードモデル事業
～ まちづくり推進事業 ～

その他の記載 No. F - ②

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」座談会

対象者数	780	回収率	記載件数	記載件数率
回収数	697	89.36%	11	1.58%

設問	あなたは「住みやすいまちづくり」についてどんなことをしたらよいと思いますか。
----	--

チェック 欄	No.	アンケート	11 その他の記載内容
			E 環境 整備
	155		ゴミ拾いをすることです。
	170		若い人の結婚で人口を増やす。野、畑で安心してつくれる野菜、果物。 山の猿、猪等出て何も作れない。
	178		都市部と山間地域との距離感を無くす。
	179		人口を多くする事。
	197		子どもはできるだけ山野で生活させる。
	199		若い人達から見ても「年をとったら、山野に住みたい」と思われるような町づくりをしてほしい。高齢者がいきいきしている姿を街の人にも知ってもらおう。主な道路に花木を植えるなどして、何年かおきにこのようなアンケートを書いてもらうことはすごくいいことだと思います。
	226		交通事故、犯罪を町内あげて防ぎ、治安を守る。
	230		役職の世代交代。
	243		子どもの定年失職の受け皿。最後時同様の受け皿準備。多様の産物、共同自立 地産地消、相互扶助。
	66		住みやすい町にでること。
	180		市議員さん方の力強いご協力をお願いします。

町内住者アンケート 集計表

実施期間 2009年12月15日
2010年 1月10日

福山市キーワードモデル事業
～まちづくり推進事業～

その他の記載

No. F - ②

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」座談会

対象者数	780	回収率	記載件数	記載件数率
回収数	697	89.36%	24	3.44%

設問	あなたは「住みやすいまちづくり」についてどんなことをしたらよいと思いますか。
----	--

チェック欄	No.	アンケート		11 その他の記載内容 F 研修 啓発
	9			年代に関係なく我が事と考え、他人任せにしないで1人1人が考え、行動していく必要があると思います。町外へ出て行く事を仕方ないと思わず残れるよう考えて欲しいと思います。
	10			若い人が頑張るよりほかない。
	19			人の幸せを願う人が多くなれば良いと思います。
	28			よそ者を嫌う風習が多少あり、背極性を向上さす。
	30			陰口をいわない事。皆平等である。老人の近くに子どもがいる様にする。
	42			高齢者が半数近くなので明るく元気でないと、益々衰退します。頼るのではなく、自立し、困っている高齢者の助けとなれたら良いと思う。勤めていると自分のことで一杯なので何もできない。逆に時間がある高齢者がカギを握っていると思う。人の役に立つ事で生きがいのでて元気になる。
	51			プラス思考の勉強して愛、共生、調和、前向きの話し合いする。
	53			閉鎖的な人が、今まで多かったのが問題だ若い者たちが出るのはわかる。
	63			周りに余り手数をかけず毎日をなるべく自立して過ごすこと。
	87			抽象的だが、できる人ができることを無理せず楽しみながら活動すること。
	96			早め早目の行動(若い人が出る前にするべき)。
	117			自分がよければという人が多いので淋しい。
	137			若い者が山野に住む方法。住み易いまちづくり。
	138			何をやっても本物であること。
	156			地元の人が頑張るしかない。
	157			学校がなくなってしまうと、益々高齢化になり子育てをする年齢の者がいなくなる。どうにか学校維持の対策を考えていかなければいけない企業誘致して労働できる(若者の)環境づくりも必要。
	181			自分の子ども達だけは町で生活させてやりたいと言う意識を捨てること。
	192			町外から来た人をよそ者の目で見ると積極的に打ち解けようとしないと、受け入れる気持ちがないと、住み易い町にならない。
	208			山野町としてでなく、福山市として何をするかを考える方が良いのではないかと思います。
	208			山野町としてでなく、福山市として何をするかを考える方が良いのではないかと思います。
	216			「若い人が、住みやすい町」と「高齢者が住みやすい町」に違いが大きいように思う。その差を埋めること。
	219			漠然としているが、高齢化は全国的であり、それを逆手にとって何か発信したい。
	228			こうしたアンケートのこえをもとに今何が出来るか、考えるだけでも一歩前進だと思います。その後は？です。
	239			自分自身を質良く向上するを旨とし、明朗で居たい

町内住者アンケート 集計表

実施期間 2009年12月15日
2010年 1月10日

福山市キーワードモデル事業
～まちづくり推進事業～

山野まちづくり推進委員会
「山野生き甲斐づくり」座談会

その他の記載

No. F - ②

対象者数	780	回収率	記載件数	記載件数率
回収数	697	89.36%	23	3.30%

設問	あなたは「住みやすいまちづくり」についてどんなことをしたらよいと思いますか。
----	--

チェック 欄	No.	アンケート		11 その他の記載内容
				G その他
	2			7年余り介護を自宅でした事で身も心も今は、疲れて将来の事を本気で考え まだ決まらないのが現実です。
	3			10年前だったら良かったのに!!
	16			どうしようもないようです。
	56			簡単な問題ではないのでお答えできません。
	60			個人としては現在住み易い。
	98			特になし。出て行きたいひとり。
	104			今住んでいる人が住みやすいようにすればよい。そうすれば外から人が来ると思う。
	106			もう今となってはどうしようもない。10年遅いと思う。 若い者たちが、山野町内に留まることを話し合うことを早くしてほしかった
	119			なんにもできない。
	126			寄付等が多すぎる。
	150			難しいと思います。
	151			頑張るには若くない、もう遅いような。
	161			色々行動したいとは思いますが、足腰が痛くて何をやる元気でない。
	162			もう年老いているため、何もできる様な元気が出ません。 申し訳ありません。
	165			皆さまのお世話になるばかりで何もできません。
	166			学校がなくなってしまうと、益々高齢化になり子育てをする年齢の者がいなくなる。 どうにか学校維持の対策を考えていかなければいけない企業誘致して労働できる(若者の) 環境づくりも必要。
	182			現在でよい。
	202			80歳を過ぎましたので、皆さまのお世話になるばかりです。
	203			頑張る。
	204			難しいです。
	215			山野町内の方以外に意見を聞いてみてもいいのでは。
	232			山野町全体での考えで。
	246			特になし(できない)。

山野史跡散策

説明の番号は、「山野史跡散策」図の番号を示す。

(山野民俗資料保存会発行「山野史跡散策」より)

1. 木割谷のお月さん

高知県大月町の南照寺を勧請する。

農耕の神として崇める。また、冬至にかぼちや汁を接待する風習がある。



2. 宮氏の墓

新市亀寿山城を本拠地としていた宮一族の宮則氏が山野地頭職となる。宮三郎義兼が志川の滝山城に移り、1551(天文20)年、毛利に亡ぼされるが、10代宮忠右衛門 1832(天保3)年ころまでのものであろうといわれている。



4. 大原古墓群

五輪塔、宝篋印塔合わせて77基ある。主だつものに完備した五輪塔5基、完備しないもの22基、宝篋印塔24基など。宝篋印塔に刻まれた「白」の文字から宮一族並びに戸屋ヶ丸関係者のものあろうと考えられている。

平成24年に市史跡に指定。



5. 戸屋ヶ丸城跡

鎌倉時代の初め、1190～1198(建久年中)大原左衛門尉重綱が山野村地頭職として下向し、ここに城を築いたといわれる。1615(慶長20)年、一国一城令が出るまで山城としてあった。



3. 山野民俗資料館

1892(明治25)年 安那郡山野村役場として建設された。県東部で現存する最古の役場建造物。1978(昭和53)年、山野民俗資料保存会が旧山野村役場を福山市より借り受けて開館した。

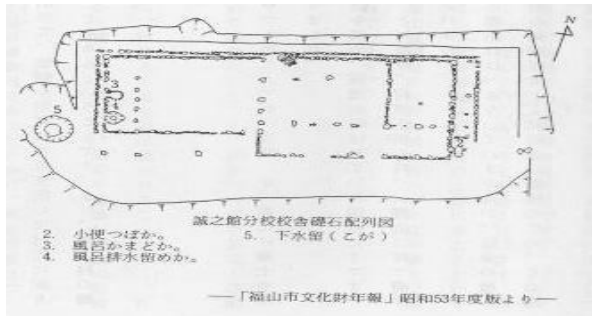
資料約1,200点。

農村の生活・風習の分かる資料を展示。2014(平成26)年4月国の登録有形文化財(建造物)に登録された。



6. 藩校誠之館分校跡

1854(安政元)年、福山藩主阿部正弘が、藩士や子弟の教の場として福山に作り、1866(慶応2)年、山野に分校を設けた。1871(明治4)年、廃藩置県となるまで続いた。



9. 上原谷の石灰岩巨大礫

この巨大礫は、赤色凝灰岩礫を含んだ硯石層群の上ののっかっている。幅33m、高さ30m、奥行き32mほどの巨大礫である。

県指定天然記念物。



7. 馬乗観音

本尊、十一面千手観音。1041(長久2)年、備中矢掛の長者新五平によって勧請された。

新五平の家に居候していた娘がある朝、白馬にまたがり、この山野の地に来て、馬より降りて姿を消した。娘が長者の家にいるとき、たらいの水に映った姿が観音様であったことから、主人新五平はこの娘がただものでない、観音の化身であると信じてこの地に勧請し、それ以後この山を馬乗山と呼ぶようになったという。



10. 矢川のクリッペ

クリッペとは、本来の基盤でない地層の上に遠く離れた場所からずり動かされてきて孤立した地塊のことをいう。この石灰岩の丘は、長さ240m、厚さ約50mの石灰岩の塊である。残念ながら手前の木が茂って見えない。

県指定天然記念物。



8. 原谷の岩屋権現

上原谷の石灰岩巨大礫の下部にある。907(延喜7)年の延喜式神明帳に記載されている山野で最も古い神社である。この神社の正式名は、多祁伊奈太伎佐耶布都神社(たけいなだきさやふつじんじゃ)という。古文書によると出雲神話にまつわる神社とみなされているが社家に伝わる記録とは異なっている。



11. 龍頭の滝

日本有数の準平原である吉備高原の辺縁部が浸食されてできた峡谷である。

滝の高さは57mある。滝の落ち口の近くに甌穴がありここで丸い石が作られるが時々この穴がつまり、水を吹くことがある。その様が丁度龍が玉をくわえて火を吹く様に似ていることから「龍頭の滝」と呼ばれる。



12. 長者屋敷・女郎屋敷跡

県道から福山電気発電所のダムの入口付近が屋敷跡とされている。鎌倉時代末期、平維盛(たいらのこれもり)の子孫、杉原胤平(すぎはらたねひら)は北条高時の臣であったが、高時の娘賤機姫(しずはたひめ)と恋仲になり、高時の怒りを買って、難を逃れてこの山野に落ち延びてきた、その場所がここであるといわれる。女郎は上臈のことであるという。



13財福鉾山

猿鳴峡紅葉橋の上、堂谷への道筋にあるのが財福鉾山である。県道から堂谷への道筋に、いくつもの採掘坑跡があり、製錬所跡も残っている。江戸時代から掘られており、明治中ごろは盛んであったという。この一帯には馬乗鉾山、川向こうには青滝鉾山など沢山の鉾山跡がある。

14. 田原城跡

建武の前後(334 年前)、串の丸の城主江草和泉守元忠の子伊賀守元治の築城ではないかといわれている。戦国時代の中頃には細川天竺三郎の居城となっていたが、応仁の乱当時、山名方の江草、宮氏等に攻められて以来城の消息は不明である。



15. 光明寺のゴヨウマツ

目通り周囲 2.2m、
樹高 15m、
枝張り東西 4.5m、
南北 20m。
市指定天然記念物



16. 串の丸城跡

江草和泉守元忠の居城。1331(元弘元)年吉野朝方の桜山四郎入道慈俊(これとし)が北条討伐の旗揚げをしたのに呼応して、江草元忠は戸屋ヶ丸城の大原経信を攻めた。大原氏は敗れ、その後、桜山一族の宮氏が城主となり、江草氏が城代を勤めた。串の丸城は自然廃城といわれている。



17. 水野藩士広田与惣左衛門守直の墓

水野藩馬回りであった広田は、1698(元禄 11)年、水野家が除封、跡目相続が分家水野備前守勝直の息子数馬と決定した時、広田は伊吹、仙石等同志とともに当藩番頭水野平内勝寿を立つべしとして、上士 84 人、足軽 600 人らとともに死を決して籠城、事を起こそうとしたが、家老上田玄蕃がこれを鎮めて事は止んだ。浪人後、娘婿の山野世良家へ寄寓し、翌元禄 12 年死去した。また、この墓地の南下に瀬戸屋敷がある。水野勝成が浪人中にここに逗留、鮎取り猪狩りなどをして楽しんでいったという。



20. 福泉寺のカヤの木

イチイ科の常緑高木である。目通り周囲 3.4 m。樹高約 26 m あったが、落雷に遭い、上部 12mほどが折れ、短くなっている。県指定天然記念物。



18. 東の免のヒイラギ

根回り 2.7 m、
目通り周囲 2.6 m、
樹高約 10m。
枝張り東西 10.3 m、
南北 10 m の巨木。



市指定天然記念物。

21. 江草氏の墓

江草氏は田原の串の丸城主であったが、宮氏が戸屋ヶ丸城を落としてからはその城代を務めた。

墓は本覚寺の上にある。変形五輪塔が水野勝成の獵友だった江草五郎左衛門元政、将棋形の墓が勝成の臣江草五郎吉元勝のものである。



19. 福山電気山野発電所とダム

福山の「くろがねや」藤井与一衛門が自社の需要のため、昭和 4 年に建設開始、6 年より発電を始める。

発電能力、2,006kw

ダム貯水能力、

46,000 m³

ダムから発電所までの

水路の長さ、6.5km

落差、約 187m

現在はすべて中電へ売電、駅家変電所へ送られている。

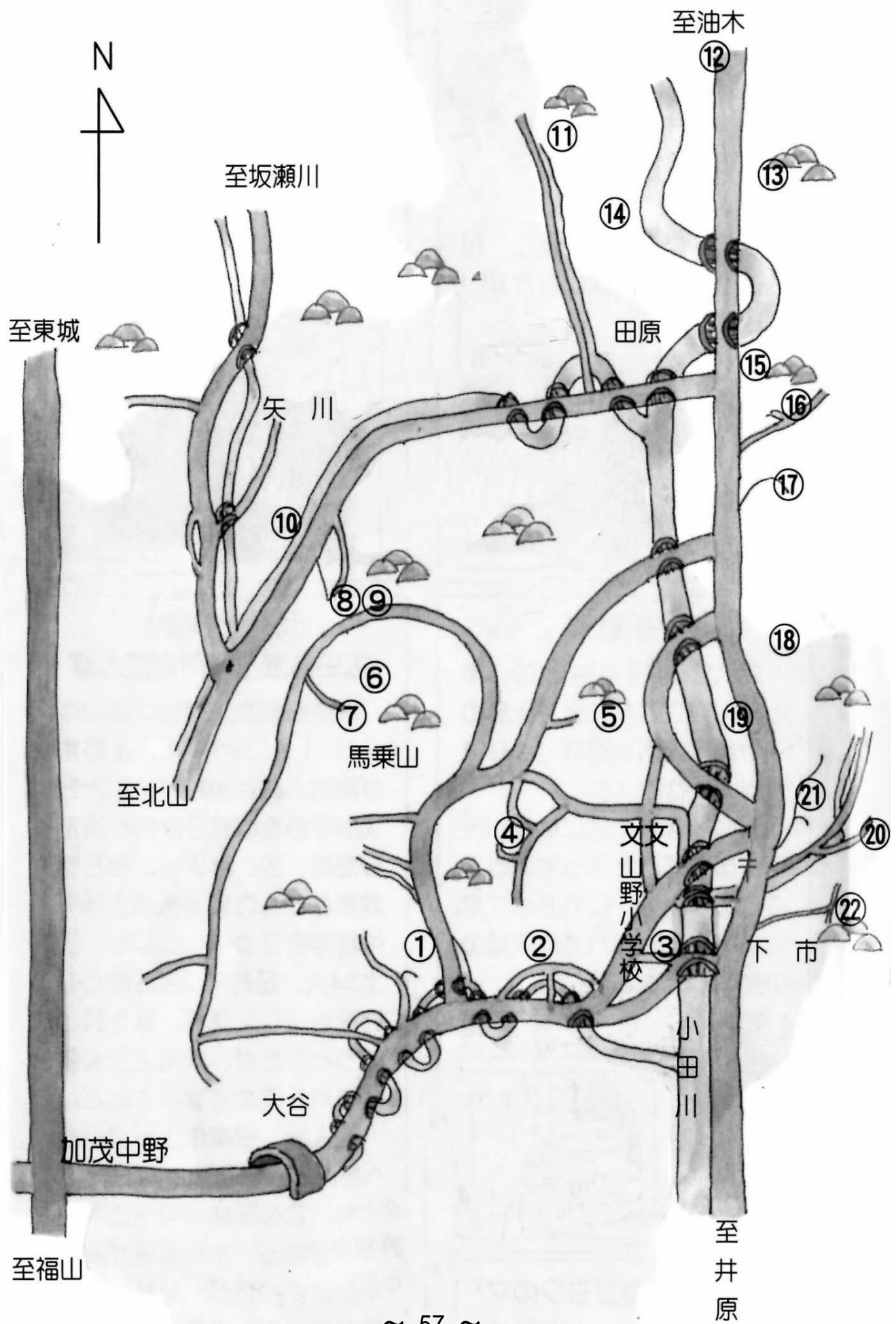


22. 上市 山野氏の墓

山名時清、山野清房、山野経清等三代のもので 15 基ほどある。時清の父備後国神辺城主であった山名氏清は、1391(明德 2)年、足利義満の計略にはまり、1392(明德 3)年誅せられる。清房の代、一族郎党山野に蟄居し、姓を「山野」に改める。子孫は鞆にて庄屋を務める。



山野史跡散策図



「山野の草花たち」

2014年3月発行の「季節をよむ」から紹介



トオゴクサバノオ



ユキワリイチゲ



タカハシテンナンショウ



コショウノキ



キクガラクサ



フタリシズカ



ヤマジノホトトギス



スズムシバナ



《 山野学区まちづくり計画 》

策 定 2015年(平成27年)4月
山野まちづくり推進委員会

